

高階家文書

高階家は、高槻藩において中老や家老を勤めた家禄二二〇石の藩士である。高槻藩主永井家への仕官の時期は、「高階勤書」（文書番号46）から初代・直清の代の寛文五年（二六六五）だと分かる。以降、明治維新に至るまで永井家に仕えた藩士家である。

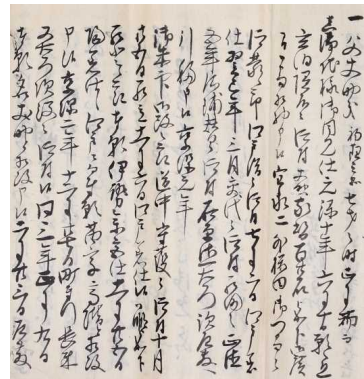
本文書群は、総点数五九二点で、近世文書は五七一点、近代文書が二一点である。最古の年紀の史料は天正十六年（一五八八）の「雉之東山寄庵居士法名道号」（文書番号1）である。法名の「玄心」と、通称の「明翁」を記したものであるが、人物は不詳である。

文書群の主な内訳は、高階家の経歴に関する史料と、砲術関係の史料、漢詩・和歌・歌稿である。中でも高階家の経歴に関する史料は、直清に仕えた初代から歴代の事跡を辿ることができる。詳細は後述するが、高階家は藩医として永井家に仕え、後に中老や家老職に任じられ、藩政の中枢に関わった藩士家であり、その系譜は注目に値する。ここでは、前述の「高階勤書」などを用い、高階家の経歴を中心に紹介する。

高階家の祖先で、永井家に初めて仕官したのは、「寺井玄伯」という医師である。玄伯は、京都で医業を営んでいた所、寛文五年（二六六五）に知行百石で永井直清に藩医として召抱えられた。なお、永井直清の家臣団を書き連ねた「御当家古分限帳」（大北家文書、『しろあとだより』第六号、

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/ikktwebbrowser/material/files/group/104/ck.shirato-dayori-6.pdf>）に

は、百石取りの医師として「寺井玄治(伯カ)」の名が見られる。直清の家



「高階勤書」（文書番号46）

臣になった後、寛文八年に五十石を加増され、直清の時代では参勤交代に三度同行した。二代直時と三代直種にも仕え、藩主が病氣の際に投薬を担当したという。玄伯は、三十三年間藩医を勤め、元禄十年（二六九七）に隠居する。そして宝永五年（二七〇八）に八十一歳で病没した。

同年、水戸藩の儒学者である森尚謙が、玄伯の死をいたむ詩「寺井玄伯医宗輓詞」（文書番号8）を送っている。森尚謙は、元は高槻藩の藩医として永井家に仕え、京都や江戸へ遊学に出た後、水戸藩主徳川光圀の招きを受けて藩主の侍医侍講をつとめ、藩校・彰考館の前身となる儼塾を開いた人物である。

玄伯は医師であったが、医療に関する史料では、薬の調合方法や効能について記した「疵秘薬集・疵之付薬事」（文書番号105）がある。

「高階」姓を名乗るのは、玄伯の子の理兵衛の代からである。理兵衛は、延宝七年（二六七九）に三代直時に初めて御目見し、父・玄伯の隠居に伴い、元禄十年に家禄百二十石を相続し、御広間番に任命される。その後、宝永二年（二七〇五）からは江戸詰を命じられ、江戸勤番中の享保元年（二七一六）に、苗字を「高階」に改めることを認められる。「高階」を名乗った理由は判然としない。同二年には、町奉行の長束又右衛門の次役に任命され

ている(文書番号24・46)。翌年には名を「丈助」に改め、「高階丈助」と名乗り始める。享保十四・十九年の京都火消詰に同行したほか、同二十年には「御城米御用金御預」を命じられている(文書番号26)。

丈助は、寛保元年(一七四一)に藩へ隠居願いを提出するが、藩政が多忙という理由から、足輕組支配と「御城米御用金御預」を免除された上で勤め続けている。翌年、丈助は隠居を認められ、子の多助が家禄百二十石を相続している(文書番号27)。丈助は、家督相続した元禄十年から、隠居した寛保二年までの四十五年間で様々な役職を経験し、隠居後は「九畹」を名乗った。その後、宝暦二年(一七五二)に江戸へ引越し、同七年に八十二歳の生涯を閉じた。

多助は、初名を文蔵と名乗り、六代藩主・直期代の享保十二年(一七二七)、江戸で中小姓として勤め始める。父と同様に江戸詰を命じられるが、享保十五年の京都西陣大火の際には、直期の上洛に同行している。同二十年に近習目付に任命され(文書番号25)、この後「多助」と名を改めた。

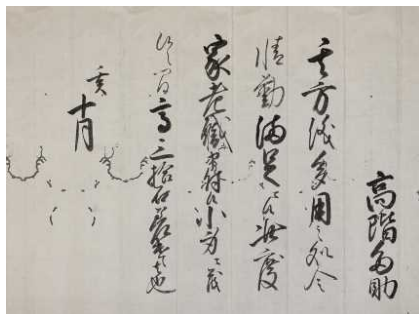
藩全体に関する役では、元文二年(一七三七)に京都・般舟院(京都市上京区)で執行された中御門院の法要に際して、高槻藩主の宿坊の統括を任されている。同五年には、高槻で大洪水が起り城下も浸水して「表向御用多」なため、八月から九月までの間、「大目付方助役」を勤めている。藩の非常事態に際して、臨時に「助役」を設けたことが分かる。

寛保二年(一七四二)、多助は父の隠居に伴い家督相続し、用人役に就任している(文書番号28)。延享二年(一七四五)には、藩から「若殿様御付」

つまり後の七代藩主・直行の側仕えを命じられている。同四年に多助は、「御用聞」のために一時、江戸から高槻へ帰還している(文書番号29・46)。この際、三十石の加増と役料三人扶持を給付され、「定府」つまり江戸常住と、「家内引越」を従来通り入念に行うように命じられている(文書番号46)。

なお、前年の冬に多助は、「願書」を藩へ提出している(文書番号29)。願書の内容は、高槻に高齡の父がいるため、江戸詰めの免除を願ったものである。しかし、江戸詰めの藩士の人数が少ない上、多助の代わりが勤まる人物もいないためにあらためて定府を命じられた。

藤間文五兵衛が多助に宛てた書状(文書番号31)には、多助が高齡の九畹と一緒に暮らすことは「是二過たる御大幸ハ無」と記しており、親との同居を勧めている。結局、九畹は宝暦二年(一七五二)に江戸へ引越し、子の多助と暮らした。隠居後の藩士の暮らしが垣間見える史料である。



「口達(家老職任命および三十石差遣わすにつき)」(文書番号36)

宝暦八年(一七五八)に直珍が八代藩主となり、その翌年に多助は「中老」へ任命されている(文書番号34)。任命状には、中老は「政事取計之勤筋」であるから、家老の須長七郎兵衛とよく相談して政務にあたるようにと記されている。その後、明和四年(一七六七)に藩政の統括役である家老(江戸家老)に就任している(文書番号36)。多助が長年に亘って藩政の中核で活躍してい

たことが分かる。多助は明和七年頃から「左忠」と名乗り、同年に高槻への帰還を命じられた。その後、左忠は、安永七年(一七七八)に七十一歳で没している。

赤松吉雄著の『高槻町誌』(昭和二年)によると、伊勢寺(奥天神町)に残る高階家の墓碑には、高槻藩士の和久氏から養子にむかえた「主馬(秀典)」が安永七年に家督相続し、文化十二年(一八一五)に没したという。なお墓碑を建立したのは、左忠の晩年に誕生したという高階秀昭(丈助)である。

次に、幕末の高槻藩の家臣団を記した『永井家分限帳』(野見神社蔵)には、文政八年(一八二五)、兄秀昭(丈助)の願いにより、弟の雄次郎(後の敬山・左忠)が、家禄三百二十石を相続し、鶴之間番に任命された。天保四年(一八三三)に町奉行、同七年に用人役、嘉永四年(一八五〇)には中老に任じられている。安政二年(一八五五)に知行を召上げられ、家禄を二百石に減じられた上で、子の民太郎へ家督を相続している。

この民太郎が、幕末から明治の漢詩人として著名な高階春帆(一八二五～一九〇六)である。春帆は、高槻藩士で漢詩人の藤井竹外から漢詩を学び、明治二十五年(一八九二)、六十八歳の時には、詩集『春帆楼百絶』を刊行している。本文書群には、春帆の交友関係が窺える史料が見られる。

高槻藩茶頭の堀内宗完が春帆に原稿の批評を求めた書状(文書番号144)や、幕末から明治期にかけて活躍した漢詩人の大沼枕山(文書番号578)や小野湖山(文書番号579～581)に関する史料がある。(文書番号578～580)は、書状欠(断簡)であることが惜しまれるが、春帆の幅広い交友関係を示す史

料である。また、同じく竹外の門人であった市村水香は、自身の持病のリウマチの病状を春帆に告げる書状(文書番号191)を送っている。

本文書群には、春帆の別号「天衣」の銘と「高階」・「春帆」の落款のある漢詩がまとまって収録される(文書番号293～310)ほか、「水壺」(丈助・九腕)ら高階家歴代が詠んだ漢詩や歌稿も豊富にある。

砲術に関する史料では、江戸時代の火器である棒火矢や大砲の訓練に関する史料が多く見られる。「檉木板羽火矢町打覚之書」(文書番号53)は、棒火矢と矢木(発射台)の構造や法量について記した書である。

「武衛流砲術小目当歩附帳并玉町火矢町之覚」(文書番号54)は、天明元年(一七八二)と同三年、同四年に中将塚(天神町)で行われた発射訓練の結果を記録した帳面で、「火矢」や「三十目玉」、「百目玉百斤早放」などあり、棒火矢や大砲などの発射訓練が行われたことが分かる。武衛流は近世砲術の流派で、棒火矢や炮烙火矢などを得意とした。その他の砲術関連史料からは、芥川の川原(文書番号64・71)や安満山(文書番号74)でも訓練が実施されることが分かる。高槻藩における砲術訓練のまとまった史料群として注目される。

その他の主な史料では、七代藩主・永井直行が延享元年(一七四四)に従五位下・近江守に叙任された際の口宣案(文書番号20・21)と、宣旨(文書番号22)が伝わる。

本文書群は、藩士家の系譜を始め、高槻藩の漢詩文などの文芸、砲術などの武術の研究に寄与するといえる。(菅原義行)

高階家文書目録

近世(漢詩・和歌・歌稿含む)

文書番号	一括状況	文書名	年号	月	日	西暦	差出	宛名	形状	数量	法量	整理番号	備考
1	—	維之東山寄庵居士法名道号	天正戊子(16年)	孟穉	吉辰	1588	台師常南禪天龍濟陰玄宏立焉[印]		一紙	1	32.2×44.0	218	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計2ヶ所あり。
2	—	[書状写](色紙・短冊披見、達筆につき褒章)	慶長4	9	1	1599	御判		一紙	1	34.2×50.1	471	・寄庵写。
3	—	御旗本備押二行之御作法	承応4	2		1655			継紙	1	15.4×498.6	17	・現在未軸装も巻き癖残り軸装されていた可能性あり。
4	合綴	[嚴有院様(徳川家綱)寄進状写]	寛文11	5	27	1671	右大臣源朝臣 御書判「別紙貼紙(花押)」	(多田院)	継紙	1	30.9×172.4(枝番1~4合綴分)	216-1	・奥書「本紙大高也文字大 御判如図」。差出者花押の部分は別紙貼紙。端裏書「嚴有院様 摂州川辺郡真言律宗南都西大寺末寺多田院」。
5	合綴	[常憲院様(徳川綱吉)寄進状写]	貞享2	6	11	1685	内大臣源朝臣 御書判「別紙貼紙(花押)」	(多田院)	継紙	1	30.9×172.4(枝番1~5合綴分)	216-2	・差出者花押の部分は別紙貼紙。端裏書「常憲院様 摂州川辺郡真言律宗南都西大寺末寺多田院」。
6	合綴	[有徳院様(徳川吉宗)寄進状写]	享保3	7	11	1718	内大臣源朝臣 御書判「別紙貼紙(花押)」	(多田院)	継紙	1	30.9×172.4(枝番1~6合綴分)	216-3	・差出者花押の部分は別紙貼紙。端裏書「有徳院様 摂州川辺郡真言律宗南都西大寺末寺多田院」。
7	合綴	[大御所様(徳川吉宗)寄進状写]	延享4	8	11	1747	内大臣源朝臣 御書判「別紙貼紙(花押)」	(多田院)	継紙	1	30.9×172.4(枝番1~7合綴分)	216	・差出者花押の部分は別紙貼紙。端裏書「大御所様 摂州川辺郡真言律宗南都西大寺末寺多田院」。当該時期將軍は徳川家重(惇信院)であるが、端裏書に大御所様とあることより徳川吉宗発給とした。但し別紙花押影は徳川家重のものを貼り付ける。
8	—	寺井玄伯医宗輓詞	戊子(宝永5年)	仲冬	念日	1708	儼塾森尚謙拜[印]・[印]		一紙	1	29.1×39.1	15	
9	—	稽古法定序并理歌	宝永5	9	吉日	1708	立木才右衛門景平(花押)	寺井理兵衛殿	卷子	1	17.9×280.5	6	・外題「稽古法定序并理歌」。 ・本奥書「右皆口伝可為水四見 直心正統一流高橋弾正左衛門重治在判」。
10	—	直心正統一流伝記	宝永5	11	吉日	1708	立木才右衛門景平(花押)	寺井理兵衛殿	卷子	1	18.1×178.7	11	・外題「直心正統一流伝記」。 ・本奥書「直心正統一流元祖 高橋弾正左衛門重治在判」。
11	—	口上極意	正徳2	3	吉日	1712	伊藤宮内右衛門景平(花押)	寺井理兵衛殿	卷子	1	18.2×184.4	10	・外題「口上極意」。
12	—	目録相渡候節添状	正徳2	3	吉日	1712	伊藤宮内右衛門景平(花押)	寺井理兵衛殿	卷子	1	17.8×113.7	13	・外題「目録添状」。 ・本奥書「直心正統一流元祖 高橋弾正左衛門」。
13	—	窮理	正徳2	3	吉日	1712	伊藤宮内右衛門景平(花押)	寺井理兵衛殿	卷子	1	18.2×292.5	16	・外題「窮理」。 ・本奥書「右皆口伝可為水四見 直心正統一流高橋弾正左衛門重治」。
14	—	鎌田流楯之序	正徳6	2	吉日	1716	伊藤庄右衛門景平(花押) 他5名	寺井理兵衛殿	卷子	1	18.2×206.3	9	・外題「楯[]」。
15	—	楯秘伝之巻	正徳6	2	吉日	1716	伊藤庄右衛門景平(花押) 他5名	寺井理兵衛殿	卷子	1	18.2×206.7	12	・外題「楯[]」。
16	—	[尺讀](病体快復につき)	享保丙申(元年)	10	2	1716	後藤左一郎藤原達再拜	撰津州高槻府寺井雅君几右	一紙	1	29.9×84.6	219	・端裏書「後藤左一郎書」。
17	—	目録渡候節添状	享保12	5	吉日	1727	伊藤正山景平(花押)	高階文蔵殿	卷子	1	18.1×116.9	8	・外題「目録添状」。 ・本奥書「直心正統一流元祖 高橋弾正左衛門」。

高階家文書目録

18	—	鞘之内・弱術評・権門・問数問答	享保15	7	吉日	1730	伊藤正山景平(花押)	高階丈介殿	卷子	1	18.3×400.9	7	・外題「鞘之内 弱術評 権門 問数問答」。
19	—	阿房宮賦	宝暦13	8	19	1763	東都郊外於渋谷村書 沢難道人[印]・[印]		一紙	1	29.6×59.0	80	・漢文体。
20	—	〔口宣案〕(従五位下に叙するにつき)	延享1	12	16	1744	藏人左少弁兼左衛門権 佐藤原俊逸奉	大江直行	一紙	1	36.0×48.3	399	・整理番号399～401、411包紙にて一括。 ・上卿万里小路大納言。
21	—	〔口宣案〕(近江守に任ずるにつき)	延享1	12	16	1744	藏人左少弁兼左衛門権 佐藤原俊逸奉	大江直行	一紙	1	35.8×49.0	400	・整理番号399～401、411包紙にて一括。 ・上卿万里小路大納言。
22	—	〔宣旨〕(近江守に任ずるにつき)	延享1	12	16	1744	大外記中原朝臣師充奉	従五位下大江朝臣直行	継紙	1	35.6×48.4	401	・整理番号399～401、411包紙にて一括。 ・裏継目墨書「此継目なし、但紙ノ堅横定候通也」。 ・上卿権大納言正三位藤原朝臣植房。
23	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	47.4×26.2	411	・整理番号399～401、411包紙にて一括。 ・包紙上書「秘書、本真院様御代、口宣之写并鳥居小路寄 庵様へ、口宣之写一通口多田院之、御刺物之写一通入」。
24	こより紐一括	口達(町奉行仰付につき)	享保2年	12	27	1719		高階理兵衛	一紙	1	32.9×46.2	320 - 16	
25	こより紐一括	口達(近習目付申付につき)	卯(享保20)	2	18	1735		高階文蔵	一紙	1	35.1×49.5	320 - 19	
26	こより紐一括	口達宛(城附御用米并御用金預け申すにつき)	卯(享保20)	1	12	1735		高階丈助・中村市大夫	一紙	1	32.6×45.7	320 - 8	
27	こより紐一括	口達(丈助隠居、多助相続につき)	戌(寛保2)	12	10	1742		高階丈助・同多助	一紙	1	33.5×46.0	320 - 10	
28	こより紐一括	口達(用人役申付につき)	戌(寛保2)	12	10	1742		高階多助	一紙	1	32.9×46.4	320 - 17	
29	こより紐一括	〔書状〕(旧冬の御免願書につき)	延享4カ	2	3	1747	(須長七兵衛)	(高階多助)	継紙	1	15.4×94.2	320 - 1	・端裏書「高階多助様 須長七兵衛」。
30	こより紐一括	口達(番頭格申付につき)	延享4	6	21	1747		高階多助	一紙	1	35.1×48.2	320 - 13	
31	こより紐一括	〔書状〕(殿様帰城と老父との対面につき)	延享4カ	8	22	1747	藤間文五兵衛(花押)	高階多助様御返答	継紙	1	15.0×96.7	320 - 2	・端裏書「文五兵衛殿返事」。
32	こより紐一括	〔書状〕(殿様帰城、老父九畹息災につき)	延享4カ	8	21	1747	須長七郎兵衛(花押)	高階多助様御居	継紙	1	15.9×93.1	320 - 5	・端裏書「七郎兵衛殿返事」。
33	こより紐一括	口達(勝手向加役の差図につき)	卯(宝暦9)	1	12	1759		高階多助	一紙	1	34.7×49.4	320 - 14	
34	こより紐一括	口達(中老申付につき)	卯(宝暦9)	1	12	1759		高階多助	一紙	1	34.8×49.1	320 - 21	
35	こより紐一括	口達(役料五人扶持および五十石加増につき)	辰(宝暦10)	2	15	1760		高階多助	一紙	1	34.0×47.0	320 - 11	
36	こより紐一括	口達(家老職任命および三十石差遣わすにつき)	亥(明和4)	10		1767		高階多助	一紙	1	34.9×46.5	320 - 12	
37	こより紐一括	口達(近習向支配御免につき)	亥(明和4カ)	10		1767			一紙	1	17.0×37.5	320 - 4	

高階家文書目録

38	こより紐一括	口達(七十石加増し在所引越詰七・八年申付につき)	寅(明和7)	12	28	1770		高階左忠	一紙	1	36.2×49.2	320-20	
39	こより紐一括	口達(在所へ引越詰および俵新助公辺見習在府につき)	寅(明和7)	12	28	1770		高階左忠	一紙	1	18.0×49.3	320-6	・唯心院および信濃守よりの口達とあり。
40	こより紐一括	口達(退役願および別紙書付兩通につき)	卯(明和8)	9	9	1771		高階多助	一紙	1	32.8×45.8	320-18	
41	こより紐一括	口達(三十石加増し定府に申付につき)	卯(延享4)	4	21	1774		高階多助	一紙	1	32.8×46.2	320-15	
42	こより紐一括	覚(胃・頬当ほか諸道具書上)	申	8				高階多助	一紙	1	35.3×47.4	320-22	
43	こより紐一括	〔書状写〕(旧冬の御免願書につき)	(年未詳)	2	2				継紙	1	16.2×55.7	320-3	・整理番号320-1本文中の引用書状の写。
44	こより紐一括	口達(御用筋の品七郎兵衛と相談につき)	戌(明和3ヵ)	6	21				一紙	1	17.7×48.4	320-7	
45	こより紐一括	口達(先手組足軽預け申すにつき)	酉	6	19			高階丈助	一紙	1	32.5×41.2	320-9	
46	—	高階勲書	宝暦10	6		1760	高階多助 初文蔵当辰五十三才		縦帳	1	24.2×17.2	317	
47	—	〔高槻藩諸事覚帳〕	(安永7年以降)			1778～			横帳	1	13.8×18.8	34	・使者の対応、江戸での対応、火事の際の対応等を記す。
48	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	33.7×24.0	91-1	・整理番号91-1全体の包紙。 ・表書「家老長田万次郎より到来 物士清水与一より相備」。
49	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	22.2×13.0	91-1-1	・整理番号91-1-2の包紙。 ・切紙紙片2枚同封。 ・表書「奉哭高階大夫 清水業拝具」。
50	—	奉哭(追悼文)	安永7	10		1778	清水業拝具	高階大夫	一紙	1	22.2×33.3	91-1-2	
51	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	21.1×19.1	91-2-1	・整理番号91-2-2の包紙。 ・表書「祭文一章 長田元蕃拝具」。
52	—	〔祭文〕(追悼文)	安永7	10	7	1778	元蕃拝具[印]・[印]		継紙	1	20.9×75.5	91-2-2	
53	—	檜木板羽火矢町打覚之書	天明1	7		1781	芥川五町場拵放火矢百目三拾目十文目矢細工高階丈助所持		縦帳	1	18.7×12.9	28	・棒火矢関係の資料か。
54	—	武衛流砲術小目当歩附帳并玉町火矢町之覚	丑(天明元年)	6		1781	高階丈助		横帳	1	12.3×17.4	29	・表紙上書「天明元丑年・同式寅年・同三卯年」とあり、この間の覚書か。 ・棒火矢関係の資料か。
55	—	御代覽武衛流火矢町控	天明1	7	24	1781			一紙	1	11.2×14.8	404	・高階秀昭所持。 ・芥川五町場、目当吹貫建、星幕縄張。
56	—	御上覽玉揚之節扣	天明3	5		1783	高階		一紙	1	12.2×17.0	424	・砲術訓練関係。
57	—	御鹿狩之節御供仕候	天明3	2		1783			継紙	1	14.9×64.4	474	・着用覚、鉄砲之事、心得有増之事。

高階家文書目録

58	—	天明六丙午年五月九日拾北山中 将塚武衛流三拾目玉数打百発早打	午(天明6)	5	9	1786	鈴木藤蔵門弟高階汀		継紙	1	14.7×71.8	213	
59	—	[包紙] (三十目玉数早打之節書 附共)	天明6	5		1786	高階汀		一紙	1	32.9×23.5	215	・ 的の絵四枚を描く。
60	—	荻野流砲術打順之覚	天明6	6		1786			横帳	1	12.3×34.0	285	・ 棒火矢関連か。
61	—	[包紙] (砲術入用書)	天明7	8	下旬	1787			一紙	1	24.1×17.9	448	・ 反古紙を利用。
62	—	火箭仕立打覚之書	(天明1年～三年)			1781～ 1783	高階秀昭		横帳	1	12.4×17.2	30	・ 表紙上書「天明元丑年・同式寅年・同三卯年」とあり、 この間の覚書か。 ・ 棒火矢関係の資料か。
63	—	白塩硝筒薬鉛之控	天明3・4	4		1783・ 1784	高階		横半帳	1	12.1×16.9	291	・ 棒火矢関連か。
64	—	於芥川原武衛流砲術打順之覚	申	8	29		武衛流指南鈴木藤蔵		継紙	1	15.4× 185.0	193	
65	—	銃用持参之覚	(年未詳)	4	23		高津良馬控		継紙	1	16.2×94.5	209	
66	—	惣鉄砲百四拾挺十勝負分之覚	(年月日未詳)						継紙	1	15.5×41.9	212	
67	—	無辺流代々書附	(年月日未詳)						横帳	1	9.5×21.2	35	・ 槍術山本氏に関する記述。
68	—	午正月ヨリ諸入用覚(棒火矢関 係)	午	5			高階汀		継紙	1	14.7×65.1	283	
69	—	量地術拔書	(年月日未詳)						縦帳	1	24.2×16.9	284	・ 挿絵入り。
70	—	百目鉄羽形							型紙	1	24.0×5.0 (型紙)	286	・ 包紙内にあり。棒火矢の羽型紙。
71	—	於芥川原武衛流砲術打順之覚	申	8	晦日		武衛流指南鈴木藤蔵		継紙	1	15.6× 226.2	381	
72	—	火矢町平場幕割凡矢着星入幕入 積	(年月日未詳)						継紙	1	27.8× 172.2	405	
73	—	天明八年季秋砲術覚書	(年月日未詳)						継紙	1	14.9×22.8	410	
74	—	於安満山放町五町場	辰	8	28		鈴木藤蔵		横帳	1	12.4×34.7	415	・ 砲術訓練関係。
75	—	[砲術の差図]	(年月日未詳)						一紙	1	34.3×24.4	418	
76	—	[馬術教本写]	(年月日未詳)				源二階堂佐渡守元門(花 押)	宗右衛門尉殿	継紙	1	26.9× 143.8	430	・ 原本は天文十三年二月十一日。朱書き校合あり。
77	—	学文十徳・同十失	(年月日未詳)						一紙	1	26.8×41.9	435	
78	—	百目玉推板羽火矢寸法	(年月日未詳)				高秀昭		一紙	1	24.1×30.5	436	・ 棒火矢関係。

高階家文書目録

79	—	〔書道教本断簡〕	(年月日未詳)						一紙	1	27.1×19.8	437	
80	—	〔炮術調練打順〕	(年未詳)	8	26				一紙	1	24.6×33.6	442	
81	—	〔書道教本断簡〕	(年月日未詳)						一紙	1	27.0×22.2	445	
82	—	炮術教打之節諸道具入用留	(年月日未詳)						一紙	2	14.7×47.0	446	
83	—	〔火矢関係覚書〕	(年月日未詳)						一紙	1	28.4×23.8	452	
84	—	百目玉仕掛	(年月日未詳)						一紙	1	24.8×33.6	455	・棒火矢関係。
85	折込一括	〔棒火矢寸法覚書〕(五丁矢・十丁矢ほか)	(年月日未詳)						一紙 (折紙)	1	23.6×33.2	211 - 1	
86	折込一括	〔棒火矢寸法覚書〕(八貫之目御銃)	(年月日未詳)						一紙 (折紙)	1	18.6×24.2	211 - 2	
87	—	〔花火仕法〕	(年月日未詳)						縦帳	1	17.2×12.2	278	
88	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	42.1×30.4	425	・包紙上書1「手目録」。包紙上書2「直純公御筆、益之進様御筆也」。
89	—	〔口宣案の覚書〕	(年月日未詳)						一紙	1	34.5×50.3	454	・任永井近江守、上卿万里小路大納言、職事小川坊城左少弁。
90	—	〔永井尚征・尚保由緒書〕	(年月日未詳)						一紙	1	22.2×14.4	468	
91	—	当將軍家譜(徳川松平家系図)	(享保年間以降)						縦帳	1	27.9×22.0	21	・享保年間(1716～1736)。
92	—	江戸詰銀被下切(江戸詰の用銀書上)	(年月日未詳)						継紙	1	14.6× 108.5	208	・端裏書「江戸詰銀」。
93	—	仲ヶ間席順	(年月日未詳)						継紙	1	15.9×23.6	210	・棒火矢関係か。貼紙訂正1ヶ所あり。
94	—	古曾部村ニ而借り物之覚	(年未詳)	4	8		高階汀		一紙	1	14.8×31.9	461	
95	—	〔高槻藩土馬印一覽〕	(年月日未詳)						継紙	1	13.6× 236.1	480	
96	—	〔高槻藩分限帳〕	(年月日未詳)						横半帳	1	15.1× 20.5	481	
97	—	覚(材木代)	(年未詳)	5	前		瀬川	高階丈助様	一紙	1	24.2×10.3	429	
98	—	内借銀の覚	(年月日未詳)				高階		一紙	1	23.6×16.7	450	
99	—	〔書状写〕(浄土宗教義につき熊谷蓮生入道へ返答)	(年月日未詳)				源空御影	(熊谷蓮生入道)	一紙	1	27.3×39.8	20	・本奥書より建暦元年(1211)正月二日付文書源空書状を沙門慈当が書写したものをさらに手習用に書写したものか。

高階家文書目録

100	—	〔墨跡〕（「八幡大菩薩」神号）	（年月日未詳）				道祖槌丸		継紙	1	98.0×31.4	84	・端裏書「周防山口雜賀」。 ・原文は天正13年1月付。
101	—	短時之方	（年月日未詳）				松井伝左右衛門吉通（花押）		一紙	1	29.5×44.1	440	・神仏への祈念法。
102	—	〔記〕（法金剛院内墓所戒名書上）	（年月日未詳）						継紙	1	15.8×41.5	306	・法印道翁ほか計7名を記す。
103	—	〔墓碑写〕	（年月日未詳）						一紙	1	34.6×24.6	402	・「寂雲道空居士・妙安恵光禅尼」銘楡型墓標、「法印道翁」銘宝塔、「（梵字キリク）心月大姉」銘五輪塔の3基。
104	—	〔直心正統論〕	（年月日未詳）						卷子	1	18.2×205.2	14	・外題「直心正統論」。 ・本文後欠の資料を書写。
105	—	〔疵秘葉集・疵之付葉事〕	（年月日未詳）						継紙	1	10.3×336.9	18	・巻き癖残るが表裏両面に記載あり当初からこの形状であった可能性が高い。
106	—	〔手習手本〕（いろは漢字）	（年月日未詳）						一紙	1	29.7×43.3	19	
107	—	〔布陣図〕	（年月日未詳）						継紙	1	200.0×49.0	27	・兵法関係の資料か。
108	—	法定（仕太刀・討太刀）	（年月日未詳）						一紙	1	13.6×103.4	32	・表面、裏面とも記載あり。 ・折跡から当初折本であった可能性あり。
109	—	〔手習手本カ〕	（年月日未詳）						継紙	1	25.9×65.8	69	
110	—	小幡勘兵衛城之図（縄張図）	（年月日未詳）						継紙	1	24.8×154.5	76	
111	—	源義経百首	（年月日未詳）				織田弾正忠信長御判		継紙	1	18.6×431.7	88	・外題「義経百首」、元卷子装か。 ・内容は兵学書で、本奥書は天正8年5月18日付織田信長による。本奥書を含めた後世の偽書。
112	—	〔日本具足史〕	（年月日未詳）						継紙	1	17.7×150.2	89	・原題不明、鎧の種類の説明。 ・後半部欠損、元卷子装か。
113	—	〔写物〕（尊円親王書状）	（年月日未詳）				尊円写		継紙	1	31.6×70.9	95	・原文は年未詳8月1日付。
114	—	笛附（笛教本）	（年月日未詳）				秀昭（花押）	（笛教本）	横半帳	1	10.0×15.5	279	・花押は朱書。
115	—	〔女房奉書〕（將軍様への礼につき）	（年月日未詳）				ちやちや	きく殿[]	一紙	1	28.7×87.0	304	・散らし書き。
116	—	〔包紙〕	（年月日未詳）						一紙	1	40.5×26.2	312	・包紙上書「直時様御自書一通 □上女郎方奉文之類并口教書其外名公御筆入」。
117	—	〔御教書案文〕（地下人住屋につき）	（年月日未詳）				禅守	一条織儀師殿	一紙	1	33.7×53.0	314	・端裏書「御教書案文」。原文は永徳元年(1381)6月12日付、裏書「応永廿三〇月廿二日（花押）」とあるが、原本ではない。
118	—	〔手習教本〕（いろはにほへと）	（年月日未詳）				寺井隼人佑		卷子	1	31.3×96.2	397	・後欠、前部は整理番号408。
119	—	尊朝親王伊呂波（表紙）	（年月日未詳）						一紙	1	31.2×23.8	408	・後部は整理番号397。
120	—	〔包紙〕	（年月日未詳）						一紙	1	33.7×23.8	398	・包紙上書「御上覧、武衛流火術入用書、秀昭所持」。

高階家文書目録

121	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	48.3×35.1	316 - 1	・包紙上書「永井右近太夫様へ□城□御奥より御奉書其外御奉書も入」。
122	包紙一括	〔女房奉書〕(公方様歌い初めにつき)	(年月日未詳)				むろ・川さき・をか山	けん生院殿返々々々御中	一紙	1	35.0×49.0	316 - 2	
123	包紙一括	〔書状〕(参勤の祝儀の札)	(年月日未詳)				岡野ゆう筆	なかいうこん殿人々御中	一紙 (折紙)	1	40.5×55.8	316 - 3	
124	こより紐一括	〔手習教本〕(「請厳刻旨」)	(年月日未詳)						堅帳	1	32.5×23.0	396 - 1	・帳はずれ。
125	こより紐一括	〔手習教本〕(漢詩・和歌)	(年月日未詳)						堅帳	1	36.3×25.1	396 - 2	・帳はずれ。
126	こより紐一括	〔当流執行の要枢三箇条〕	(年月日未詳)						一紙	1	31.5×34.0	470 - 1	・武道関係。「良」「氣」「裕」。
127	こより紐一括	〔当流執行の要枢〕	(年月日未詳)						一紙	1	32.9×22.0	470 - 2	・武道関係。「推」。
128	折込一括	海防憶測巻之上(断簡)	(年月日未詳)						一紙	1	25.0×34.0	72 - 1	・「其一」頁1枚のみ。
129	折込一括	〔海防憶測巻之上カ〕(断簡)	(年月日未詳)						一紙	1	25.1×34.7	72 - 2	・「其三」後半・「其四」前半頁1枚のみ。 ・整理番号73-1の続きか。
130	折込一括	〔由比正雪縄張図写〕	(年月日未詳)				正雪縄		一紙	1	28.5×41.2	75 - 1	・原文は慶安元年10月5日付。
131	折込一括	〔由比正雪縄張図写〕	(年月日未詳)						一紙	1	28.5×41.2	75 - 2	・原文は慶安元年10月付。
132	—	〔香道教本〕	(年月日未詳)						継紙	1	15.0×41.7	94 - 1	
133	—	〔香道教本〕	(年月日未詳)						継紙	1	15.0×41.6	94 - 2	・内容は整理番号94-1と関わるものと思われるが、関係は不明。
134	—	源氏舞楽香の記(組香対戦結果)	(年未詳)	9	7				継紙	1	15.5×42.0	94 - 3	
135	—	〔包紙〕(太田撰津守書状分)	(年月日未詳)				太撰津守	高階多助殿	一紙	1	28.0×41.1	22	
136	—	将軍家御判(徳川将軍花押写)	(年月日未詳)						一紙	1	31.7×40.6	24	・端裏書「将軍家御判」。 ・徳川家綱、徳川綱吉、徳川吉宗、徳川家重の花押影。
137	—	〔包紙〕(宏蔵主書状分)	(年月日未詳)						一紙	1	32.5×29.0	25	・表書「宏蔵主御直書 但御上事□ 円乗院様御道中ニ而新助頂戴之」。
138	—	〔某書状〕(投薬法、末女死去、牧野越中守奏者番任命等につき)	(年月日未詳)						一紙	1	16.6×47.2	31	・前後欠。 ・裏書「安田立超・同立睦・同立貞」。
139	—	〔尺牘〕(渡辺氏所伝尊翰披閱および翁の病状につき)	(年未詳)	9	29		寺井秀実再拜	呈後藤老翁几下	一紙	1	29.2×73.2	192	
140	—	〔鈴木藤蔵書状〕(銀子受取につき)	(年未詳)	5	1		鈴木藤蔵	高階汀様	一紙	1	14.7×36.7	214	
141	—	〔書状〕(内室の病状及び処方につき)	(年未詳)	8	9		安田主膳修(花押)	高階九畹様	継紙	1	15.3×184.0	229	

高階家文書目録

142	—	〔書状〕(旧年の火事につき)	(年未詳)	2	24		安田主膳	高階九畹様	継紙	1	16.3× 164.3	230	
143	—	〔書状〕(年始の挨拶及び下向の儀につき)	(年未詳)	1			堀内宗完(花押)	高階清様参人々御中	一紙 (折紙)	1	36.3×49.8	282	
144	—	〔書状〕(原稿の批評)	(年未詳)	10	29		堀完伴(堀内宗完)	春帆翁	継紙	1	15.9×52.3	287	
145	—	〔書状〕(一軸拜見につき)	(年未詳)	4	27		堀宗完(堀内宗完)	高多助様	一紙	1	16.0×37.4	289	
146	—	〔書状〕(淡州行きにつき長々不在であったこと)	(年未詳)	10	13		孝	春帆詞宗	継紙	1	15.6×53.2	290	
147	—	〔書状〕(当月二十一日禁裏新嘗会の件慰勞につき)	(年未詳)	11	29		安田立睦修(花押)	高階多助様	継紙	1	15.9×96.6	295	・端裏書「立睦状」。
148	—	〔書状〕(禁裏修理、京都火事、養子縁組などにつき)	(年未詳)	4	5		安田立貞公(花押)	高階多助様拜復	一紙 (折紙)	1	34.2×48.1	296	
149	—	〔連署状〕(立睦病氣、関東吉事、韓人琉人来朝などにつき)	(年未詳)	10	28		安田立超明(花押)・安田立睦修(花押)	高階多助様	一紙 (折紙)	1	33.3×45.1	297	
150	—	〔書状〕(周助の件につき)	(年未詳)	7	17		安田立貞	高階多助様拜復	継紙	1	16.4× 131.3	298	・端裏書「七月口 立貞状」。
151	—	〔書状〕(末子出生につき)	(年未詳)	12	17		安田立超文達(花押)	高階丈介様貴答	継紙	1	16.0×80.9	299	
152	—	〔書状〕(栗田口門主様法会につき)	(年未詳)	2	11		安田立貞公(花押)	高階多助様人々御中	継紙	1	15.8×65.9	300	・前欠。
153	—	〔連署状〕(新年祝詞の礼)	(年未詳)	1	28		安田立超明(花押)・安田立睦修(花押)	高階多助様	一紙 (折紙)	1	33.1×45.1	301	
154	—	〔書状〕(新年の挨拶、昨年の大納言婚禮などにつき)	(年未詳)	1	3		安田立睦修(花押)	高階九畹様	継紙	1	16.9× 112.1	302	
155	—	〔書状〕(土岐氏へ面会、淀城内火事火消役などにつき)	(年未詳)	6	1		安田立睦修(花押)	高階九畹様	継紙	1	16.2× 141.9	303	
156	—	〔書状〕(伝奏衆諸門跡取調べにつき)	(年未詳)	7	18		安田立超料(花押)	高階丈助様	継紙	1	15.9× 133.6	307	・前欠。
157	—	〔書状〕(菓子(の)礼状)	(年未詳)	7	9		(堀内宗完)	(高階丈助)	一紙	1	16.2×34.4	308	・端裏書「丈助様御口へ 堀内宗完」。
158	—	〔書状〕(年始祝詞の礼)	(年未詳)	2	10		檜山主膳隆福(花押)	高階多助様	一紙 (折紙)	1	35.1×47.2	310	
159	—	〔書状〕(みかんの礼)	(年月日未詳)				ちぶ卿	御三た様(本光院門跡カ)	一紙	1	30.1×43.0	315	
160	—	〔書状〕(疥癬病状につき)	(年未詳)	8	20		安田立超料(花押)	高階丈助様	継紙	1	16.2×95.1	319	
161	—	〔書状〕(丹州青木家中西村七郎右衛門息女、実兄の養女にし引き取ったこと)	(年未詳)	12	11		安田立超(花押)	高階丈助様	一紙	1	16.8×37.0	322	・前欠。
162	—	〔書状〕(牧氏病人不治、その後死去のこと)	(年未詳)	初冬	25		安田立超方達(花押)	高階丈介様貴報	継紙	1	15.7× 125.6	323	

高階家文書目録

163	—	拝答(佳菓の礼)	(年未詳)	5	18		堀内宗完	雄二郎様	継紙	1	16.4×42.7	342	
164	—	〔書状〕(茶道具用意せよとの近習目附の指示につき)	酉	9	16		堀内宗完	高雄次郎様	一紙	1	16.2×124.5	345	
165	—	〔書状〕(所労快方に向かうにつき)	(年月日未詳)						一紙	1	16.5×47.0	347	・後欠、整理番号348と関連。
166	—	〔書状〕(悉患順快に向かうにつき)	(年月日未詳)						一紙	1	31.5×44.7	348	・後欠、整理番号347と関連。
167	—	〔書状〕(丹治高槻村勘定取替につき)	(年未詳)	10	5		丹治	高階様	一紙	1	15.6×22.0	369	
168	—	〔書状〕(椎茸の礼)	(年未詳)	9	20		堀内宗完	高階雄次郎様	一紙	1	16.1×51.3	370	
169	—	〔書状〕(養子遠行の趣)	(年未詳)	7	21		堀内宗完(花押)	高階雄次郎様	一紙	1	31.6×43.8	371	
170	—	〔書状〕(貴稿再評につき)	(年未詳)	9	14		谷鉄直	高階春帆様	一紙	1	17.0×23.7	373	
171	—	〔書状〕(並木氏同道にて訪問するにつき)	(年月未詳)		5		山本一介	高階清様侍史	一紙	1	21.7×30.2	375	
172	—	〔書状〕(紵取り寄せたので代金もたせるよう)	(年未詳)	11	13		堀内宗完	高階雄次郎様	一紙	1	16.6×82.2	377	
173	—	〔書状〕(腰張御尋につき返答)	(年未詳)	7	8		堀内宗完	高階雄次郎様 藤井次右衛門様	一紙	1	16.3×44.4	382	
174	—	〔書状〕(昨朝の菊拝見、及び酒の礼)	(年未詳)	10	14		堀内宗完	高階雄次郎様	一紙	1	16.3×54.3	385	
175	—	〔書状〕(松茸の礼)	(年未詳)	9	19		堀内宗完	高階雄次郎様	継紙	1	18.3×53.6	389	
176	—	〔書状〕(御馳走、及び菓子の礼)	(年未詳)	2	29		堀内宗完	高階雄次郎様	継紙	1	15.9×96.4	390	
177	—	〔書状〕(無事の帰着祝い、及び土産の礼)	(年未詳)	7	28		堀内宗完	高階多助様	継紙	1	16.3×65.9	391	
178	—	〔書状〕(岸和田より到来につき)	(年未詳)	1	25		堀内宗完(花押)	高階雄次郎様	継紙	1	16.2×102.7	392	
179	—	〔書状〕(滞留中の懇意に対する礼)	(年未詳)	2	22		堀内宗完(花押)	高階雄次郎様	一紙	1	19.5×50.9	393	
180	—	〔書状〕(年賀状の返事、家族の近況)	(年月日未詳)						一紙	1	15.9×40.9	394	・後欠。
181	—	〔書状〕(下向時に懇意の礼、及び礼が遅れたことへの詫ひ)	(年未詳)	3	10		堀内宗完	高階雄次郎様	継紙	1	16.3×101.4	395	
182	—	〔書状〕(年賀状)	(年未詳)	1	2		三宅又三郎	藪主水様	一紙	1	31.4×43.8	406	
183	—	〔書状〕(肴料返弁につき)	(年未詳)	12	晦日		堀内宗完	高多助様	継紙	1	16.3×50.8	413	

高階家文書目録

184	—	〔書状〕(手紙・風呂敷包の礼)	(年月日未詳)				堀内宗完	雄次郎様	継紙	1	16.0×43.8	414	
185	—	〔書状〕(鯛到来の礼)	(年月日未詳)				堀内宗完	高多助様御答	継紙	1	16.2×53.5	416	
186	—	〔書状〕(尊稿評価につき)	(年未詳)	9	29		棟拜	春帆高階先生	継紙	1	16.3×62.5	417	
187	—	〔書状〕(香送付予定につき)	(年未詳)	2	12		堀内宗完	高階多助様	継紙	1	16.5×89.6	419	
188	—	〔包紙〕	(年月日未詳)				楡山主膳	高階多助様	一紙	1	27.8×39.9	420	・包紙上書「高階多助様 楡山主膳」。
189	—	〔書状〕(待合并に雪隠建築につき)	(年未詳)	2	28		堀内宗完	白井惣助様・曾我八郎右衛門様・内藤宇右衛門様	一紙	1	16.5×45.8	441	
190	—	〔書状〕(松茸の礼)	(年未詳)	10	10		堀内宗完	高階雄二郎様	継紙	1	15.8×62.5	444	
191	—	〔書状〕(持病リウマチの病状につき)	(年未詳)	11	16		水香拜	春帆老先生	継紙	1	16.7×59.9	449	
192	—	〔書状〕(下向の際世話になった礼)	(年未詳)	12	23		堀内宗完	高階雄次郎様	継紙	1	17.6×71.8	451	
193	—	〔書状〕(嫡子より伝書及び結構の品御礼)	(年未詳)	10	17		堀内宗完	高階様	継紙	1	16.1×67.3	456	
194	—	〔書状〕(留守につき)	(年月未詳)		25		吉二郎	雄次郎様	一紙	1	16.1×28.2	457	
195	—	〔書状〕(佳菓の礼)	(年未詳)	8	11		堀内宗完(花押)	高階雄二郎様	継紙	1	19.4×81.2	458	
196	—	〔書状〕(菓子(カ)の礼)	(年月未詳)		24		嶋山人(カ)	春帆老台拜復	継紙	1	15.2×34.4	459	
197	—	〔書状〕(去る二日の地震につき)	(年未詳)	7	24		堀内宗完	高階雄次郎様	継紙	1	15.8×43.8	473	
198	—	〔書状〕(数寄屋用家、高階殿より見合の儀)	酉	9	11		堀内宗完	白井惣助様・曾我八郎右衛門様・内藤宇右衛門様	継紙	1	16.1×96.1	477	
199	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)				宏蔵主	高階多助殿	一紙	1	23.4×33.2	23 - 1	・整理番号23-2の包紙。
200	包紙一括	〔書状〕(入院および祝儀昆布の礼につき)	(年未詳)	12	18		礪空	高階多助宛	継紙	1	16.3×52.0	23 - 2	
201	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	24.0×32.8	321 - 1	・包紙上書「竹原淡水先生書」。
202	包紙一括	〔書状〕(中元肴料金百疋の礼)	(年未詳)	9	5		天満農人町竹原宗右衛門	高階丈助様貴答	一紙	1	16.5×56.8	321 - 2	
203	包紙一括	口上(依頼の一行物の件)	(年未詳)	10	6		淡水(花押)	高階伯	一紙	1	18.0×16.9	321 - 3	
204	包紙一括	覚(汲古堂帖料・法帖料領収書)	(年未詳)	10	8		竹原淡水代宗杭	高階丈助様	継紙	1	16.4×25.1	321 - 4	

高階家文書目録

205	包紙一括	〔書状〕(法帖料受取及び扇面料のこと)	(年未詳)	4	27		竹原宗右衛門	高階丈助様几下	継紙	1	15.7×46.6	321 - 5
206	包紙一括	〔書状〕(段書上達及び屏風書き直しにつき)	(年未詳)	4	29		竹原淡水	高階丈助様玉机下	一紙	1	18.4×31.8	321 - 6
207	包紙一括	口上(玉立水清料受取につき)	(年未詳)	2	16		竹原淡水	高階詞伯	継紙	1	18.0×23.6	321 - 7
208	包紙一括	〔書状〕(汲古堂仕立直しの件)	(年未詳)	10	15		天満農人町竹原淡水	高階詞伯	継紙	1	18.0×46.1	321 - 8
209	包紙一括	〔書状〕(菓子料及び法帖料受取につき)	(年未詳)	12	27			高階丈助様	継紙	1	16.5×65.2	321 - 9
210	包紙一括	〔書状〕(菓子料及び法帖料受取につき)	(年未詳)	12	21		竹原宗右衛門	高階丈助様	継紙	1	16.8×47.1	321 - 10
211	包紙一括	〔書状〕(段書など送り状)	(年未詳)	5	22		淡水拜	高階雅伯几下	継紙	1	15.7×34.3	321 - 11
212	包紙一括	〔書状〕(年詞及び羊羹の礼)	(年未詳)	2	9		竹原宗右衛門	高丈助様貴答	継紙	1	16.4×58.7	321 - 12
213	包紙一括	〔書状〕(依頼の書物宛本につき取替のこと)	(年未詳)	11	11		竹原淡水拜	高丈助様玉安下	一紙	1	15.4×49.2	321 - 13
214	包紙一括	〔書状〕(伊勢寺へ面倒をかけたこと、段本送り状)	(年未詳)	8	晦日		竹原宗右衛門	高階雅君	一紙	1	18.0×43.7	321 - 14
215	包紙一括	〔書状〕(段書拝見、次の文認め差し上げるにつき)	(年未詳)	閏9	22		竹原宗右衛門	高階丈助様	継紙	1	16.9×48.4	321 - 15
216	包紙一括	〔書状〕(中元金百疋、京都諸名家書尽の礼、舞鶴賦送り状)	(年未詳)	重陽	13		竹原淡水	高階丈助様	継紙	1	16.4×65.1	321 - 16
217	包紙一括	〔書状〕(中元祝儀百疋の礼)	(年未詳)	8	9		竹原宗右衛門	高階丈助様	継紙	1	18.0×49.6	321 - 17
218	包紙一括	〔書状〕(先だつて御覧に入れた帖は表紙附の帖か否か問い合わせ)	(年未詳)	10	22		竹原宗右衛門	高階丈助様几下	継紙	1	17.9×51.6	321 - 18
219	包紙一括	〔仕立材代金勘定〕(玉立・法帖など)	(年月日未詳)						一紙	1	17.9×18.4	321 - 19
220	包紙一括	〔書状〕(秋陵帖・汲古堂帖代金受取につき)	(年未詳)	10	19		竹原淡水	高階丈助様貴答	一紙	1	16.7×42.3	321 - 20
221	包紙一括	〔書状〕(表装家病気につき法帖送付延引のこと)	(年未詳)	8	15		竹原宗右衛門	高階丈助様貴下	一紙	1	18.0×38.7	321 - 21
222	包紙一括	〔書状〕(風邪大流行、段書拝見、法帖送り状)	(年未詳)	3	20		竹原淡水	高丈助宛	継紙	1	15.6×41.5	321 - 22
223	包紙一括	〔書状〕(約束の法いまだ出来せざること)	(年未詳)	11	28		竹原淡水	高階雅伯几下	一紙	1	18.0×44.8	321 - 23
224	包紙一括	〔書状〕(京都河先生墨蹟の礼、及び約束の品送り状)	(年未詳)	4	5		竹原宗右衛門	高階詞伯几下	継紙	1	18.1×49.1	321 - 24
225	包紙一括	〔書状〕(段書筆削を加え返却につき)	(年未詳)	4	15		竹原宗右衛門	高丈助様	継紙	1	15.1×45.6	321 - 25

高階家文書目録

226	包紙一括	覚(書物三部代領取につき、天満農人町竹原宗右衛門書状断簡挟み込む)	(年未詳)	11	23		天満農人町竹原宗右衛門	高階様	一紙	2	15.9×18.1 15.1×5.9	321 - 26	
227	包紙一括	〔書状〕(祝儀百疋の礼)	(年未詳)	12	27		竹原淡水	高階丈助様几下	継紙	1	18.1×52.0	321 - 27	
228	包紙一括	〔書状〕(朝鮮順鱗の書拜見、明代風にみえる旨)	(年未詳)	4	25		竹原宗右衛門	高階丈助様	継紙	1	18.1×64.0	321 - 28	
229	包紙一括	〔書状〕(段書拜見、殊外良い出来、及び次の文送り状)	(年未詳)	6	1		竹原宗右衛門	高階丈助様几下	継紙	1	18.0×52.8	321 - 29	
230	包紙一括	覚(金子受取につき)	(年未詳)	12	25		竹原		継紙	1	18.0×52.5	321 - 30	
231	包紙一括	口上(菓子料南鐮一斤の礼、及び段書筆削送り状)	(年未詳)	2	8		竹原淡水拜	玩古先生几下	継紙	1	15.1×46.9	321 - 31	
232	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	46.5×34.5	33 - 1	・整理番号33全体の包紙。 ・表書「若殿公 御筆」とある包紙を再利用か。
233	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	24.2×16.5	33 - 1 - 1	・整理番号33-1-1-1・2の包紙。 ・表書「伊奈半十郎様御書二通 未極月廿一日・廿七日」。
234	包紙一括	〔封筒〕	(年月日未詳)				伊半十郎	高多助様	封筒	1	19.4×4.8	33 - 1 - 1 - 1	・整理番号33-1-1-2の封筒。
235	包紙一括	〔書状〕(金拝借願につき)	未	12	21		伊半十郎	高階多助様 極内用	継紙	1	17.7×74.4	33 - 1 - 1 - 2	
236	包紙一括	〔封筒〕	(年月日未詳)				半十郎	多助殿	封筒	1	19.7×5.4	33 - 1 - 1 - 3	・整理番号33-1-1-4の封筒。
237	包紙一括	〔書状〕(横麻送状につき)	未	12	27		半十郎	多助殿	継紙	1	17.3×28.4	33 - 1 - 1 - 4	
238	包紙一括	〔書状〕(寒中見舞い)	(年未詳)	12	28		羽田壱右衛門忠豊(花押)	高階多助様	一紙	1	15.4×28.8	33 - 1 - 2 - 1	・前欠。 ・裏書後筆「御書」とあり、33-1-2-2番の包紙として再利用。
239	包紙一括	〔書状〕(改年の挨拶)	(年未詳)	1	2		堀田主税正修(花押)	永飛驒守様 参人々御中	一紙(折紙)	1	32.1×44.5	33 - 1 - 2 - 2	・折紙右下部別筆「正月廿九日到来」。
240	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	27.1×36.6	33 - 1 - 3 - 1	・整理番号33-1-3-2・3の包紙。 ・表書「於進様 直書」。
241	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	27.9×40.6	33 - 1 - 3 - 2	・整理番号33-1-3-3の包紙。 ・表書「封 高しな主馬殿 用事申入」。
242	包紙一括	〔書状〕(忠右衛門代わりの者につき)	(年月日未詳)				進	高しな主馬殿 用事申入	継紙	1	16.1×94.7	33 - 1 - 3 - 3	
243	包紙一括	〔包紙〕	酉	4	15				一紙	1	16.6×23.8	33 - 1 - 4 - 1	・整理番号33-1-4-2・3の包紙。 ・表書「永井大和守様御書 酉四月十五日」。
244	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)				永井大和守	高階多助様 用事	一紙	1	20.5×30.5	33 - 1 - 4 - 2	・整理番号33-1-4-3の包紙。
245	包紙一括	〔書状〕(書物三冊返却および松涛院の件につき)	(酉)	4	15		大和守	多助様	一紙	1	15.5×37.9	33 - 1 - 4 - 3	
246	包紙一括	〔封筒〕	(年月日未詳)				松涛院	高しな多助殿 内用	封筒	1	14.5×4.8	33 - 1 - 5 - 1	・整理番号33-1-5-2の封筒。

高階家文書目録

247	包紙一括	〔書状〕(送金合計および借金願)	(年月日未詳)				松涛院	高しな多助殿 用事	継紙	1	17.4×60.4	33-1-5-2	
248	包紙一括	〔書状〕(金借用願につき)	(年月日未詳)				久野	高階多助様 人々御中	継紙	1	16.5×74.2	33-1-6	
249	包紙一括	〔書状〕(金子拝借願につき)	(年未詳)	6			堀田益之進	高階多助様	継紙	1	15.8×65.5	33-1-7	
250	包紙一括	〔包紙〕	(年月日未詳)				堀内宗完	高階雄次郎様	一紙	1	23.3×32.9	380-1	・包紙上書「梅軒門絵図写入、大工九兵衛写」。
251	包紙一括	〔書状〕(学行炮術、梅軒門絵送るにつき)	(年未詳)	6	15		堀内宗完	高階雄次郎様	継紙	1	15.8×80.1	380-2	
252	包紙一括	覚(代金勘定につき)	(年未詳)	6	13		指物師甚久	堀内様	一紙	1	16.3×24.3	380-3	
253	—	〔漢詩〕(「苦疫行」)	享保甲寅(19年)	仲冬	上院	1734	泰嶺[朱印1][朱印2]		一紙	1	28.5×549.2	460	・表紙別紙。 ・原本は水壺高秀実著。奥書「此乙軸、依或人索、清書、以贈之」。
254	—	〔尺讀〕	享保20	閏3	14	1735	安田立超文達頓首[印]		継紙	1	27.7×135.6	70	・漢文体。
255	—	〔漢詩〕(奉水壺高君六十)	享保20			1735	蘭阜木定堅拝		継紙	1	30.0×221.5	233	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計2ヶ所あり。
256	—	柳条篇序	寛保3	孟秋	下澣	1743	槻府九畹老聞高秀実識[印]・[印]		一紙	1	28.8×79.4	120	・吉野葎洲の人物につき記すものか。
257	—	〔記〕(短歌について)	延享2	仲夏	某日	1745	代某人識		継紙	1	27.7×79.5	142	・漢文体。
258	—	〔歌稿〕(佐々木宗匠会初懐紙「春色浮水」)	文化午(7年)	春		1810	秀達上		一紙	1	15.5×44.8	248	
259	—	〔歌稿〕(「寒流帯月」)	文政3	10	12	1820	秀達		一紙(折紙)	1	36.5×49.0	238	
260	—	〔歌稿〕(小森当座「浦秋夕暮」)	文政3	6	晦日	1820	秀達上		一紙(折紙)	1	36.1×48.6	239	
261	—	〔歌稿〕(「露」)	文政辰(3年)	夏		1820	秀達上		一紙(折紙)	1	36.1×48.8	240	
262	—	〔歌稿〕(「初秋虫」)	文政3	2	下旬	1820	秀達上		一紙(折紙)	1	36.0×48.9	242	
263	—	〔歌稿〕(「滝音知春」)	文政3	1		1820	秀達上		一紙	1	15.8×45.2	260	
264	—	〔歌稿〕(小森当座「池杜若」)	文政3	2		1820	秀達上		一紙	1	18.0×49.3	261	
265	—	〔歌稿〕(「元旦」「歳暮」「餞別」)	文政3	1		1820	秀達上		一紙	1	31.0×45.0	262	
266	—	〔歌稿〕(田中公当座「池紅葉」)	文政3	10	12	1820	秀達上		一紙	1	33.0×44.5	272	
267	—	〔歌稿〕(田中公当座「被厭恋」)	文政3	6	29	1820	秀達上		一紙	1	36.0×48.5	274	

高階家文書目録

268	—	〔歌稿〕(当坐「牡丹」ほか)	文政3	2	16	1820	秀達上		一紙	1	35.9×48.5	333	
269	—	〔歌稿〕(「速」)	文政3	2		1820	秀達上		一紙	1	30.1×45.1	361	
270	—	〔歌稿〕(「山菊」「秋田家」ほか)	文政3	9		1820	秀達上		一紙	1	36.4×48.9	362	
271	—	〔歌稿〕(三余齋当座「玉」)	文政3	10	15	1820	秀達上		一紙	1	36.5×49.7	363	
272	—	〔歌稿〕(小森当座「余花」)	文政4	4	17	1821	秀達上		一紙 (折紙)	1	36.1×48.5	235	
273	—	〔歌稿〕(長田氏当座「春曙掃 厂」)	文政4	閏1		1821	秀達上		一紙	1	18.0×49.1	254	
274	—	〔歌稿〕(小森当座「春月」)	文政5	閏1		1822	秀達上		一紙 (折紙)	1	17.9×49.1	243	
275	—	〔歌稿〕(田中公当座「初花」)	文政5	閏1		1822	秀達上		一紙 (折紙)	1	31.6×44.7	247	
276	—	〔歌稿〕(長田当座「荻風」)	文政5	9	1	1822	秀達上		一紙 (折紙)	1	30.6×44.5	249	
277	—	〔歌稿〕(小森当座「寄花恋」)	文政5	8	29	1822	秀達上		一紙 (折紙)	1	31.5×44.9	252	
278	—	〔歌稿〕(小森当座「寄花恋」)	文政5	閏1		1822	秀達上		一紙	1	17.9×49.0	259	
279	—	〔歌稿〕(小倉当座「野鹿」)	文政5	8	晦日	1822	秀達上		一紙	1	36.2×48.8	266	
280	—	〔歌稿〕(田中公当坐「水辺 月」)	文政5	8	下旬	1822	秀達上		一紙	1	35.3×48.1	338	
281	—	〔歌稿〕(小森当座「虫」)	文政6	7	27	1823	秀達上		一紙 (折紙)	1	35.6×49.2	246	
282	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	33.5×46.2	37	・表書「寄庵筆」。
283	—	〔墨跡〕(「菜種」)	(年月日未詳)				[印]		一紙	1	50.1×34.6	38	・寄庵筆か。
284	—	〔漢詩書上〕	(年月日未詳)						一紙	1	34.5×49.5	39	
285	—	〔墨跡〕(「天照皇太神」神号)	(年月日未詳)				(寄庵)		継紙	1	91.1×35.5	40	・端裏書「寄庵」。
286	—	寄庵夢窓国師尊氏將軍御教訓 条々	(年月日未詳)				(寄庵)		一紙	1	33.5×82.0	41	・端裏書「寄庵筆」。 ・原文は慶長4年5月23日付。
287	—	〔寄庵写物〕(二品之親王安塔 状)	(年月日未詳)				(寄庵)		継紙	1	31.9× 100.6	42	・外題貼紙「写物 寄庵手跡」、端裏書「寄庵」。 ・原文は康応元年9月14日付。
288	—	〔寄庵写物〕	(年月日未詳)				(寄庵)		卷子	1	23.3×83.1	43	・外題「写物寄庵」。 ・原文不明。

高階家文書目録

289	—	掟(家来掟条々写物)	(年月日未詳)					一紙	1	32.5×49.6	45	・原文は天正16年12月付。
290	—	[写物](宗易茶之湯心得)	(年月日未詳)			宗易		一紙	1	32.9×50.7	46	・原文は元亀2年1月23日付。
291	—	[寄庵漢詩・和歌]	(年月日未詳)			(寄庵)		一紙	1	32.3×51.9	48	・端裏書「寄庵筆」。
292	—	[歌稿]	(年月日未詳)					継紙	1	32.4× 149.8	49	
293	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.8×21.5	50	
294	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.7	51	
295	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	52	
296	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.7×21.6	53	
297	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.8×21.5	54	
298	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	55	
299	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.6	56	
300	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.7×21.6	57	
301	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	58	
302	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	59	
303	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.6×21.6	60	
304	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.6	61	
305	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	62	
306	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	28.0×21.6	63	
307	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.6×21.7	64	
308	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	65	
309	—	[漢詩](七言絶句)	(年月日未詳)			天衣[印]・[印]		一紙	1	27.5×21.5	66	

高階家文書目録

310	—	〔漢詩〕（七言絶句）	（年月日未詳）				天衣〔印〕・〔印〕		一紙	1	27.9×21.6	67	
311	—	〔漢詩〕（七言絶句）	（年月日未詳）				牛山牧心和甫〔印〕・〔印〕		一紙	1	24.1×22.9	68	
312	—	〔三行書〕	（年月日未詳）				片岡有恒〔印〕・〔印〕		一紙	1	29.2×135.2	71	
313	—	〔書籍断簡〕	（年月日未詳）						一紙	2	24.8×34.5	73	・漢籍書であるが該当不明。
314	—	〔和歌句（枕詞）索引〕	（年月日未詳）						袋綴	1	25.9×18.2	74	・袋綴一紙の各内側に罫紙を挟み込む。
315	—	〔写物〕（文祿の役に関する覚書）	（年月日未詳）						一紙	1	26.5×41.5	77	・原文は仲夏日付。
316	—	〔写物〕（女房奉書）	（年月日未詳）				葉室前大納言とのへ 冷泉前大納言とのへ		継紙	1	27.4×78.2	78	・奥部分に貼紙「享保廿年十一月十五日作女房奉書写」とあり、原文は享保20年11月15日の大札祝儀御札の女房奉書。
317	—	〔写物〕（女房奉書）	（年月日未詳）				葉室前大納言とのへ 冷泉前大納言とのへ		継紙	1	27.3×63.2	79	・奥部分に貼紙「享保廿年十一月十五日院作女房奉書写」とあり、原文は享保20年11月16日の登壇祝儀御札の女房奉書。
318	—	〔寄庵漢詩・和歌〕	（年月日未詳）						一紙	1	31.6×44.2	82	・端裏書「写物寄庵」。
319	—	〔歌稿断簡〕	（年月日未詳）						一紙	1	31.6×46.6	83	・整理番号85の前半部分か。
320	—	〔歌稿断簡〕	（年月日未詳）						継紙	1	31.6×258.0	85	・整理番号83の後半部分か。
321	—	〔歌稿〕	（年月日未詳）						卷子	1	32.1×212.7	87	・後欠。
322	—	〔漢詩〕（「題観海翁遊墩」）	丙子	季春			氷壺老隠草		一紙	1	33.7×44.8	96	
323	—	〔漢詩〕（「題宵錦堂」）	（年月日未詳）				氷壺漫草		一紙	1	28.5×53.5	97	
324	—	〔漢詩〕（「遊乾筠泉之家」）	（年月日未詳）				氷壺		一紙	1	28.6×39.5	98	
325	—	〔漢詩〕（「奉賀」）	庚子	夏			槻府老隠氷壺高秀実拝		一紙	1	28.6×38.2	99	
326	—	〔漢詩〕（「再和奉寄扶桑老禪」）	庚子	春			高場氷壺草		一紙	1	28.4×25.7	100	
327	—	〔漢詩〕（「除夕」・「上日書懷」）	壬申	春			槻水老隠氷壺草		一紙	1	31.0×40.5	101	
328	—	〔漢詩〕（「東藩聘拾賀意」）	（年月日未詳）				氷壺高秀実拝		一紙	1	27.5×31.0	102	
329	—	〔漢詩〕（「中秋無月」）	壬申	秋			老隠氷壺高秀実稿		一紙	1	32.4×24.8	103	
330	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				高氷壺書		一紙	1	33.5×47.2	104	

高階家文書目録

331	—	〔漢詩〕（「中秋月書懷」・「孟冬訪桐江先生」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	28.5×40.2	105	
332	—	〔漢詩〕（「桐江先生・同醉竹禪師狂顧作此奉謝」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	27.3×38.5	106	
333	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺老隱		一紙	1	26.8×18.9	107	
334	—	〔包紙〕	（年月日未詳）						一紙	1	35.6×48.9	108	・表題「三十五番 氷壺詩」。 ・内側は某書状写物の反故紙を再利用しているため、写物の後半部分は欠く。
335	—	〔漢詩〕（「題觀海翁遊墩」）	（年月日未詳）				氷壺老人草		一紙	1	25.0×41.7	109	
336	—	〔漢詩〕（「池畔納涼」）	（年月日未詳）				氷壺漫草		一紙	1	24.3×29.6	110	
337	—	〔漢詩〕（「池畔納涼」）	（年月日未詳）				氷壺老人草		一紙	1	28.1×28.2	111	
338	—	〔漢詩〕（「過林東臯家」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	21.5×38.1	112	
339	—	〔漢詩〕（「賀集堂老兄再任案案官」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	28.8×38.6	113	
340	—	〔漢詩〕（「奉寄奥州大年扶桑和尚」）	辛酉	孟春			武府遊客氷壺拜		一紙	1	16.1×44.7	114	
341	—	〔漢詩〕（「遊洛城」・「移居東都」）	壬申	9			槻水老漁氷壺草		一紙	1	30.0×44.0	115	
342	—	〔漢詩〕（「除夕書懷」・「元日」）	（年月未詳）		元日		氷壺高秀実草		一紙	1	31.8×45.2	116	
343	—	〔漢詩〕（「梅花」・「桜花」・「青松」）	癸亥				八十翁氷壺草		継紙	1	31.7×35.2	117	
344	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				撰陽散人氷壺草		一紙	1	24.5×36.5	118	
345	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	30.6×23.6	119	
346	—	〔漢詩〕（「大公望贊」）	丙子				氷壺識		一紙	1	15.7×34.0	121	
347	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	24.0×21.4	123	
348	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺		一紙	1	18.5×14.6	124	
349	—	三嶋神祠	（年月日未詳）				氷壺	富田乾氏亭十景	一紙	1	15.7×24.0	125	
350	—	〔漢詩〕（無題）	甲戌	孟春			七十九翁氷壺草		一紙	1	17.0×14.6	126	
351	—	晚春桐江老先生・同醉竹老禪狂顧賦此奉謝	（年月日未詳）				氷壺高秀実拜		継紙	1	27.3×85.3	127	・漢文体。

高階家文書目録

352	—	〔漢詩〕（「壬子元日」・「狗日雪」・「痘瘡」）	(年月日未詳)				槻城指揮氷壺高秀実拝 [印]・[印]		一紙	1	28.2×76.2	128	
353	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				氷壺		一紙	1	19.6×26.0	129	
354	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				高階秀実草		一紙	1	29.0×42.4	130	
355	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				高梅龍		一紙	1	30.5×44.3	131	・氷壺への返礼の内容か。
356	—	〔尺牘〕（老母病状につき）	己亥	7			高階秀実再拝	復庵森老兄玉筆下	継紙	1	28.2×55.2	132	・漢文体。
357	—	〔記〕（文武両道の件）	(年月日未詳)				高階勉甫識[印]		一紙	1	29.5×44.8	133	・漢文体。
358	—	〔記〕（先君の撫育教化活動につき）	(年月日未詳)				高階秀実拝草		一紙	1	24.7×39.6	134	・漢文体。
359	—	復矢子復書	癸亥	中元前	一日				継紙	1	28.8×52.8	135	・漢文体。
360	—	〔記〕（七十三歳に至るまでの学歴）	(年月日未詳)						継紙	1	30.0×42.2	136	・漢文体。
361	—	〔漢詩〕（無題）	(年未詳)	歳暮			氷壺草		一紙	1	31.7×26.2	137	
362	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				氷壺		一紙	1	18.7×26.2	138	
363	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				氷壺草		一紙	1	19.9×28.5	139	
364	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				揚江漁隱氷壺草		一紙	1	21.4×29.0	140	
365	—	〔漢詩〕（「重陽雨中述懷」）	壬申				氷壺老隱稿		一紙	1	16.2×29.4	141	
366	—	〔漢詩〕（「呈龍禪師」）	(年月日未詳)				氷壺草		一紙	1	16.0×46.1	143	
367	—	〔漢詩〕（「和富峯」・「旅中春晚」）	(年月日未詳)				氷壺草		一紙	1	28.5×14.6	144	
368	—	〔漢詩〕（「夷三郎贊」「大黒贊」）	(年月日未詳)				氷壺老人		一紙	1	24.3×17.0	145	
369	—	〔漢詩〕（無題）	(年月日未詳)				氷壺		一紙	1	24.0×16.0	146	
370	—	〔漢詩〕（「和北島兄見寄之心」）	(年月日未詳)				氷壺草		一紙	1	22.4×32.2	147	
371	—	〔漢詩〕（「哭妻」）	己巳	秋			氷壺老隱草		一紙	1	28.0×32.1	148	
372	—	〔漢詩〕（「遊乾消翁之家」・「觀画」）	庚午	晩春			老隱氷壺		一紙	1	24.4×31.8	149	

高階家文書目録

373	—	〔漢詩〕（「贊師尚夫」）	（年月日未詳）				氷壺贊		一紙	1	29.4×12.2	150	
374	—	〔漢詩〕（「鳳上人贈唐扇一握扇面有伊海紅楓詩面謝答」他）	甲戌	初冬			氷壺草		繼紙	1	24.0×121.3	151	
375	—	〔漢詩〕（無題）	庚午				槻府老隠氷壺		一紙	1	28.3×26.7	152	
376	—	〔尺牘〕（近況報告）	（年未詳）	仲夏	三日		宗弟高秀実拝	安田秀寸	繼紙	1	28.5×87.1	153	
377	—	〔漢詩〕（無題）	庚午	季冬			氷壺草		一紙	1	24.4×23.5	154	
378	—	〔漢詩〕（無題、三谷福道子亭にて）	（年未詳）	3	5		氷壺草		繼紙	1	24.2×22.2	155	
379	—	〔漢詩〕（題猫）	（年月日未詳）				氷壺漫草		一紙	1	24.0×31.8	156	
380	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				撰氷漁隠高秀実拝	奉謁中郎将小倉君	一紙	1	27.6×37.9	157	
381	—	〔漢詩〕（桐江先生留別）	（年月日未詳）				氷壺拝稿		一紙	1	23.6×26.5	158	
382	—	〔漢詩〕（「新年寄東都兒輩」）	辛未				七十六翁氷壺		一紙	1	28.4×25.9	159	
383	—	〔漢詩〕（「竹老隠早春見寄玉韻」）	（年未詳）	早春			氷壺具		一紙	1	23.4×19.8	160	
384	—	〔漢詩〕（「試毫」ほか三篇）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	24.5×42.3	161	
385	—	〔漢詩〕（無題四篇）	（年月日未詳）				氷壺・汎海		一紙	1	24.2×37.0	162	・氷壺が二篇に汎海が二篇。
386	—	〔漢詩〕（「戲題炭籠」）	（年月日未詳）				氷壺識		一紙	1	31.0×24.9	163	
387	—	〔漢詩〕（無題）	丙子				氷壺老人草		一紙	1	27.1×29.9	164	
388	—	〔漢詩〕（「題觀海翁遊墩」）	丙子	季春			氷壺草		一紙	1	19.2×36.4	165	
389	—	〔漢詩〕（「奉悼沢田大兄之喪細君」）	（年月日未詳）				氷壺漫草	奉悼沢田大兄之喪細君	一紙	1	23.0×31.9	166	・細君は故太守永井直時公之女。
390	—	〔漢詩〕（「上祥雲山呈罷韻老禪」）	（年月日未詳）				氷壺		一紙	1	28.4×37.3	167	
391	—	〔漢詩〕（「訪梅齋詞伯仮山新成」）	（年月日未詳）				氷壺拝具		一紙	1	30.0×45.1	168	
392	—	〔漢詩〕（「甲戌初冬疹疫流行因賦」）	甲戌	初冬			氷壺草		一紙	1	28.2×39.4	169	
393	—	〔漢詩〕（「甲戌初冬疹疫流行因賦」）	甲戌	初冬			氷壺草		一紙	1	28.2×39.5	170	

高階家文書目録

394	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺草	遊東仙寺贈存苗師	一紙	1	23.4×33.7	171	
395	—	〔漢詩〕（「甲戌之冬我侯射獵以所獲雁一翼下賜恭賦志喜」）	甲戌	冬			氷壺拜		一紙	1	27.0×39.3	172	
396	—	〔漢詩〕（「歲抄偶懷」）	（年未詳）		元日		八十一翁氷壺草		一紙	1	16.5×38.8	173	
397	—	〔漢詩〕（「韻追悼亡妻」）	（年月日未詳）						一紙	1	21.5×17.2	174	
398	—	〔漢詩〕（「大公釣肴贊」）	（年月日未詳）				氷壺識		一紙	1	18.9×11.6	175	
399	—	〔漢詩〕（「賀印渚谷君六十生辰」）	辛未	7	吉日		氷壺拜具		繼紙	1	15.9×32.2	176	・端裏書「池永」。
400	—	〔漢詩〕（「表嫡婦」）	甲戌	孟春			七十九翁氷壺草		一紙	1	23.9×34.4	177	
401	—	〔漢詩〕（「呈伝師師久罹病」）	（年月日未詳）				氷壺	到正樂寺悼宏峯長老	一紙	1	23.1×14.2	178	
402	—	〔漢詩〕（「雪後和龍閑見寄韻」）	（年月日未詳）				氷壺		一紙	1	24.2×15.5	179	
403	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺・酔竹		一紙	1	24.0×15.7	180	・氷壺が一篇で酔竹が一篇。
404	—	〔漢詩〕（「和答蘭阜兄仲秋見寄韻」）	癸酉	秋			燕都老隱氷壺草		一紙	1	25.7×29.0	181	
405	—	〔漢詩〕（「歲暮述懷」「早春奉寄桐江先生」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	28.1×39.7	182	
406	—	〔漢詩〕（「往日酔竹老禪來有烟嵐如有待之句此日犯雨過訪」ほか二篇）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	28.1×39.8	183	
407	—	〔漢詩〕（「除日書懷」「元日」）	辛酉	孟春			七十八翁氷壺草		一紙	1	28.8×40.3	184	
408	—	〔漢詩〕（「吳中訪桐江先生」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	27.4×39.5	185	
409	—	〔漢詩〕（「除夕」「元旦」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	28.5×40.0	186	
410	—	〔漢詩〕（「賦老雀呈桐江先生」）	甲寅				氷壺草		一紙	1	28.8×46.9	187	
411	—	〔漢詩〕（「雨中訪梅翁酔竹老禪鋤雲東阜二士有約阻雨不至」「惠晚雨霽」）	（年月日未詳）				氷壺漫草		一紙	1	28.0×39.1	188	
412	—	〔漢詩〕（「夏日小集梅齋賦梅実」ほか三篇）	（年月日未詳）				槻府氷壺草		一紙	1	28.1×39.0	189	
413	—	〔漢詩〕（「歲抄有人惠白兔」「元旦」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	27.5×38.0	190	

高階家文書目録

414	—	〔漢詩〕（「奉寄無心送人」）	（年月日未詳）				氷壺茶具		一紙	1	27.2×33.4	191	
415	—	〔漢詩〕（「和韻奉悼高階子喪内」）	（年月日未詳）				衣出人禪九峯和甫		一紙	1	26.9×44.5	194	
416	—	〔漢詩〕（「詠仕宦」）	（年月日未詳）				氷壺草		一紙	1	23.5×25.0	195	
417	—	〔記〕（中国歴代皇帝につき覚書）	（年月日未詳）						一紙	1	23.7×19.8	196	
418	—	〔漢詩〕（「十四夜不見月」ほか二篇）	（年月日未詳）				氷壺漫草		一紙	1	24.0×52.3	197	
419	—	〔漢詩〕（「敬廣庸嶽長秀寸見寄之韻」）	癸丑	中秋			氷壺高秀実拝		継紙	1	27.6×48.9	198	
420	—	〔漢詩〕（「題豆瘡」）	（年月日未詳）				高陽氷壺秀戲草書		一紙	1	15.5×45.5	199	
421	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）						一紙	1	18.5×38.0	200	
422	—	〔漢詩〕（無題）	（年月日未詳）				氷壺翁		一紙	1	19.5×31.0	201	
423	—	〔漢詩〕（「再和答蘭阜知鼎」）	丙子	春			八十一翁氷壺草		一紙	1	28.6×30.6	202	
424	—	〔漢詩〕（「中秋無月客懷」）	己子	秋			氷壺老翁草		継紙	1	24.4×25.0	203	
425	—	〔漢詩〕（無題）	乙亥	春			老隱氷壺草		継紙	1	19.1×39.8	204	
426	—	〔漢詩〕（「歳暮有感」「早春眺望」）	丁卯				槻水老漁氷壺草 [印][印]		一紙	1	28.2×57.8	205	
427	—	夢窓国師尊氏將軍御教訓条々	（年月日未詳）						堅紙	1	26.2×48.0	206	
428	—	先考忠睦君之墓誌銘	（年月日未詳）				三谷永春謹識		堅帳	1	24.6×17.1	207	
429	—	〔漢詩〕（「奉賀氷壺高詞宗六十寿」）	乙卯	孟夏			瞻雲恕拝[印][印]		一紙	1	28.8×67.9	217	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
430	—	〔漢詩〕（「奉寿氷壺高君六十」）	乙卯	孟夏			蘭阜木定堅拝[印][印]		一紙	1	27.7×44.1	221	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
431	—	〔漢詩〕（「和答氷壺詞賢兼韻」）	辛亥	初夏			翠巖堅和甫		一紙	1	28.2×59.1	222	
432	—	〔漢詩〕（「賀氷壺高貴士六十」）	（年月日未詳）				翠巖承堅書[印][印]		一紙	1	30.0×87.5	223	
433	—	〔漢詩〕（「奉寄氷壺儒宗」）	癸丑	仲春			渭城散人長帟嶽九拝 [印][印]		一紙	1	29.7×57.0	224	・端裏書「崎陽清人」。冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
434	—	〔漢詩〕（「寿高氷壺先生六十」）	（年月日未詳）				矢尚教拝[印]		一紙	1	28.0×37.8	225	

高階家文書目録

435	—	〔漢詩〕（「高水壺丈人見恵佳什和韻奉謝」）	(年月日未詳)				洛下西丑目端九峯和甫[印][印]		一紙	1	31.3×89.1	226	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
436	—	〔漢詩〕（「賀氷壺貴士六十初度」）	(年月日未詳)				住天龍雲雀翁[印][印]		一紙	1	27.6×55.7	227	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
437	—	〔漢詩〕（「慶氷壺高先生雷別瓊韻奉餞」）	壬申	秋9			盧雲榮拜具[印][印]		一紙	1	29.8×55.4	228	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
438	—	〔歌稿〕（「夜恋」）	(年月日未詳)						一紙 (折紙)	1	31.3×44.8	234	
439	—	〔歌稿〕（三余齋当座「庭初雪」）	卯	10			秀達上		一紙 (折紙)	1	36.0×49.1	236	
440	—	〔歌稿〕（「冬祝」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	15.9×45.0	237	
441	—	〔歌稿〕（「寄花懐旧」「賀」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	36.5×49.0	241	
442	—	〔歌稿〕（「山雪」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	36.4×48.8	244	
443	—	〔歌稿〕（秋の歌書上）	(年月日未詳)				秀達上		綴	1	18.2×48.8	245	
444	—	〔歌稿〕（「月前花」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	36.0×48.6	250	
445	—	〔歌稿〕（「七十宿賀示」「冬桜」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	31.5×44.9	251	
446	—	〔歌稿〕（「月前落葉」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	35.5×48.6	253	
447	—	〔歌稿〕（小森当座「野亭萩」「嶺上松」）	辰	8			秀達上		一紙 (折紙)	1	35.1×48.2	255	
448	—	〔歌稿〕（「湖辺月」）	辰	8			秀達上		一紙	1	18.0×49.1	256	
449	—	〔歌稿〕（「忍恋」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	35.9×48.6	257	
450	—	〔歌稿〕（「野郭公」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙 (折紙)	1	36.4×49.1	258	
451	—	〔歌稿〕（「冬日」「聞笛」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	31.3×45.0	263	
452	—	〔歌稿〕（長田氏当座「初冬」）	卯	10			秀達上		一紙	1	35.8×48.9	264	
453	—	〔歌稿〕（「秋風」）	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	31.2×44.7	265	
454	—	〔歌稿〕（小森当座「月前竹風」「河霧」）	辰	8			秀達上		一紙	1	35.0×48.1	267	
455	—	〔歌稿〕（当座「康秀」「山家暮春」）	辰	3	27		秀達上		一紙	1	31.2×45.0	268	

高階家文書目録

456	—	〔歌稿〕（「雨後遠水」「久祈恋」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	31.4×45.1	269	
457	—	〔歌稿〕（「古寺残月」「秋舟」「秋風」）	（年月日未詳）				（高階秀達）		一紙	1	36.0×48.9	270	
458	—	〔歌稿〕（「海辺雪」「雪肌花」「古寺雪」「古郷雪」「風前雪」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	36.1×50.2	271	
459	—	〔歌稿〕（「国常和尚のミのゝ国へ越給に餞したる」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	31.5×44.9	273	
460	—	〔歌稿〕（「荒和拔」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	36.0×48.7	275	
461	—	〔歌稿〕（「浦藤」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	34.5×48.0	276	
462	—	名器荘厳(茶器図覧)	（年月日未詳）				能阿在判 宗珠在判		継紙	1	28.5×649.9	277	・端裏書「名器荘厳」。
463	—	〔歌稿〕（「田家草」「水辺柳」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙 (折紙)	1	26.4×38.6	281	
464	—	〔歌稿〕（「試筆」「青色浮水」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙 (折紙)	1	31.0×45.1	293	
465	—	〔歌稿〕（「夜鹿」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙 (折紙)	1	26.5×38.8	294	
466	—	口宣案(威儀師に任ずる旨)	（年号未詳）9	2	10		藏人頭左中弁藤原宣泰奉	源中納言	一紙	1	32.0×44.6	313	・端裏書「口宣案」。宿紙を使用。
467	—	〔歌稿〕（「立春」ほか）	（年月日未詳）				秀達上		綴	1	17.8×48.8	324	
468	—	〔歌稿〕（下書）	（年月日未詳）						一紙	1	10.2×34.2	325	
469	—	〔歌稿〕（「牡丹」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	26.2×38.4	326	
470	—	〔歌稿〕（「岡寒草」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	26.3×38.1	327	
471	—	〔歌稿〕（「初秋虫」ほか）	（年月日未詳）						一紙	1	35.9×48.4	328	
472	—	〔歌稿〕（「紅霞映緑樹」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	35.9×48.5	329	
473	—	〔歌稿〕（田中公当坐「不逢応」）	（年未詳）	4	21		秀達上		一紙	1	33.0×43.7	330	
474	—	〔歌稿〕（「そなへ物に」）	（年月日未詳）	1	1				一紙	1	35.1×48.1	331	・元日に詠む。
475	—	〔歌稿〕（宮本兼題「浦千鳥」ほか）	卯	10	20		秀達上		一紙	1	26.4×38.1	332	
476	—	〔歌稿〕（「山月」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	17/9×48.9	334	

高階家文書目録

477	—	〔歌稿〕（「山雪」「寒草」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	36.3×49.1	335	
478	—	〔歌稿〕（「初冬しくれ」）	（年月日未詳）				登勝子ほか		一紙	1	35.2×48.9	336	
479	—	〔歌稿〕（「湖上霞」）	（年月日未詳）						一紙	1	36.0×48.3	337	
480	—	〔歌稿〕（「海上霞」「花盛開」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	26.5×38.6	339	
481	—	〔歌稿〕（当座「山躑躅」「池藤」ほか）	（年月日未詳）				国子上		一紙	1	31.1×45.1	340	
482	—	〔歌稿〕（当座「荻風」）	卯		6		秀達上		一紙	1	30.2×42.9	341	
483	—	〔歌稿〕（「梅交松芳」）	（年月日未詳）				秀達		一紙	1	16.3×57.7	343	
484	—	〔歌稿〕（「松虫」「秋風」）	（年月日未詳）						一紙	1	35.8×38.3	344	・十五夜の月を詠む。
485	—	〔歌稿〕（雪窓閑席上分韻）	（年月日未詳）				影再拝		継紙	1	16.5×65.2	346	
486	—	〔歌稿〕（「秋草」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	16.9×19.7	349	
487	—	〔歌稿〕（「井」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	36.2×49.9	350	
488	—	〔歌稿〕（小松当座「寄松慈」）	卯		10	3	秀達上		一紙	1	35.8×48.9	351	
489	—	〔歌稿〕（当座「川琴」）	巳		9	1	秀達上		一紙	1	35.8×48.7	352	
490	—	〔歌稿〕（「関路早春」）	（年月日未詳）						一紙	1	35.9×46.5	353	
491	—	〔歌稿〕（「年内立春」「歳暮松」ほか）	（年月日未詳）						一紙	1	31.4×44.8	354	
492	—	〔歌稿〕（「花波」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	15.6×44.8	355	
493	—	〔歌稿〕（「神楽波」「花波」）	（年月日未詳）						一紙	1	31.0×44.8	356	
494	—	〔歌稿〕（伊勢寺当座「冬山」）	卯		9		秀達上		一紙	1	36.2×49.8	357	
495	—	〔歌稿〕（伊勢寺当座「見月」）	辰		8		秀達上		一紙	1	35.5×48.2	358	
496	—	〔歌稿〕（兼題「落花浮水」「暮春月」ほか）	（年月日未詳）				国子上		一紙	1	31.1×45.0	359	
497	—	〔歌稿〕（「花」）	（年月日未詳）				秀達上		一紙	1	25.0×38.6	360	

高階家文書目録

498	—	〔歌稿〕(兼題「橘五月雨」「夕早苗」)	卯	6			秀達上		一紙	1	15.6×44.7	364	
499	—	〔歌稿〕(「初秋風」)	卯	6			秀達上		一紙	1	31.2×44.4	365	・端書「熊殿」。
500	—	〔歌稿〕(「嶋鶯の」「青月幽」)	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	26.8×38.9	366	
501	—	〔歌稿〕(「海上霧」)	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	26.8×38.6	367	
502	—	〔歌稿〕(「庵春雨」)	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	26.6×38.7	368	
503	—	〔漢詩〕(子寧親深亭作)	(年月日未詳)				円鑑抄草		一紙	1	29.2×27.0	374	
504	—	〔漢詩〕(「奉賀田老翁七十榮寿」)	(年月日未詳)				賞寥敬人抄草		一紙	1	29.5×27.4	378	・端裏書「草」。
505	—	〔漢詩〕(「久親恩寺分韻贈齡公」「詠菊花祝葉隠居七十」)	(年月日未詳)						一紙	1	18.7×25.2	383	
506	—	〔漢詩〕(「十月山陽寒」)	(年未詳)	初冬	朔日				一紙	1	32.7×23.8	384	
507	—	〔歌稿〕(子寧親深亭作)	(年月日未詳)				円鑑拝		一紙	1	19.1×25.7	386	
508	—	〔歌稿〕(「寄松祝」)	(年月日未詳)						一紙	1	16.8×14.0	387	
509	—	〔歌稿〕(「春朝」)	(年月日未詳)						一紙	1	21.1×26.9	388	
510	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	35.4×48.1	403	・包紙上書「詠草」
511	—	〔漢詩〕(賞菊)	(年月日未詳)				円鑑拝草		一紙	1	28.7×29.7	407	
512	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	33.7×19.6	409	・包紙上書「鳥居小路大藏卿高階経守箋隼人佑秀頼五代祖御教書案文」。
513	—	〔漢詩〕(「箕面瀑布二篇」)	(年月日未詳)				梁脱巖		一紙	1	28.7×23.2	421	
514	—	〔写本断簡〕	(年月日未詳)						一紙	2	25.0×30.8	426	・海防関係。
515	—	〔哥書書上〕	(年月日未詳)						一紙	1	28.1×37.6	428	・「き庵手跡西明寺殿百首」ほか。
516	—	〔色紙書様断簡〕	(年月日未詳)						一紙	1	26.8×19.9	431	
517	—	〔漢詩断簡〕	(年月日未詳)						一紙	1	31.7×44.4	432	
518	—	〔漢詩断簡〕	(年月日未詳)						一紙	1	30.7×25.1	433	

高階家文書目録

519	—	〔漢詩教本〕	(年月日未詳)				寄庵筆		一紙	1	28.8×58.4	434	
520	—	〔和歌写〕(西行法師作ほか)	(年月日未詳)						一紙	1	29.5×44.1	438	
521	—	〔漢詩写〕(「五日出懐」ほか)	(年月日未詳)						一紙	1	31.1×65.5	439	
522	—	〔歌稿〕(田中公当座「浦藤」)	辰	3	23		秀達上		一紙	1	34.2×47.9	443	
523	—	〔包紙〕(尊朝親王筆詩哥)	(年月日未詳)						一紙	1	33.3×25.7	447	
524	—	〔歌稿〕(「浦霞」ほか)	巳春				秀達上		横帳	1	18.0×48.8	453	
525	—	〔歌稿〕(「花留人」)	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	31.4×44.9	462	
526	—	〔歌稿〕(長田当座「鶴」)	辰	3	24		秀達上		一紙	1	15.5×44.8	463	
527	—	〔歌稿〕(「わか身世にふる」)	(年月日未詳)				秀達上		一紙	1	31.3×45.1	464	
528	—	〔歌稿〕(小森当座「卯花似月」)	辰	3	28		秀達上		一紙	1	15.7×44.6	465	
529	—	〔歌稿〕(賞寥舍当座「山家暮春」)	巳	3	27		秀達上		一紙	1	15.6×44.7	466	
530	—	〔歌稿〕(小森当座「更衣」)	辰	3	29		秀達上		一紙	1	35.1×48.2	467	
531	—	〔紋様写〕	(年月日未詳)						一紙	1	9.5×9.0	469	
532	—	〔歌稿〕(「田家眺望」)	(年月日未詳)				秀達上		継紙	1	18.1×38.6	475	
533	—	〔漢詩〕(無題)	(年月日未詳)				至日		一紙	1	15.6×45.1	476	
534	—	〔包紙〕(珍敷書きもの写・名筆の写并珍敷古筆入并軍配伝書一軸入・尊田親王御真筆御写)	(年月日未詳)						一紙	1	34.3×47.1	478	
535	—	〔洗心洞箭記断簡〕	(年月日未詳)						一紙	4	5.2×25.5 4.7×25.5 4.7×25.5 4.6×25.5	479	・版本
536	折込一括	〔漢詩〕(無題)	(年月日未詳)				氷壺		一紙	1	23.5×13.7	122 - 1	
537	折込一括	〔漢詩〕(無題)	(年月日未詳)				(氷壺)		一紙	1	23.5×6.4	122 - 2	・整理番号122-1の下書か。
538	包紙一括	〔包紙〕(寄庵道翁辞世和哥一首)	(年月日未詳)						一紙	1	33.4×22.2	220 - 1	・包紙上書「寄庵道翁辞世和哥一首」。

高階家文書目録

539	包紙一括	寄庵道翁辞世	(年月日未詳)						一紙	1	30.2×41.2	220 - 2	
540	合綴	[漢詩] (「高階氏追訪有詩次韻致」)	(年月日未詳)				位峯老衲照山晃草 [印][印]		継紙	1	29.3× 138.3(枝番 1～3合綴 分)	231 - 1	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
541	合綴	[漢詩] (高階水壺来訪)	(年月日未詳)				笠峯聖崖翁[印][印]		継紙	1	29.3× 138.3(枝番 1～3合綴 分)	231 - 2	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
542	合綴	[漢詩] (高階水壺拝賀)	(年月日未詳)				国峨衲峯巖草[印][印]		継紙	1	29.3× 138.3(枝番 1～3合綴 分)	231 - 3	
543	合綴	[漢詩] (「害高水壺詩案」)	丙辰		晩夏		小倉藤羽林中郎兄学 [印][印]		継紙	1	28.8× 179.1(枝番 1～5合綴 分)	232 - 1	
544	合綴	[漢詩] (無題)	(年月日未詳)						継紙	1	28.8× 179.1(枝番 1～5合綴 分)	232 - 2	
545	合綴	[漢詩] (東豊盤山臨江村泰承草)	(年月日未詳)				東豊盤山臨江村泰承草 [印]		継紙	1	28.8× 179.1(枝番 1～5合綴 分)	232 - 3	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計2ヶ所あり。
546	合綴	[漢詩] (「趣以華翁謝過」)	(年月日未詳)				提菓草[印][印]		継紙	1	28.8× 179.1(枝番 1～5合綴 分)	232 - 4	・冒頭部分にも朱印1ヶ所の計3ヶ所あり。
547	合綴	[漢詩] (「謾摘寺井氏詩韻聊抒愚情」)	(年月日未詳)				源政倫草		継紙	1	28.8× 179.1(枝番 1～5合綴 分)	232 - 5	
548	包紙一括	[包紙]	(年月日未詳)						一紙	1	32.8×23.4	26 - 1	・整理番号26-2～8の包紙、こよりで結ぶ。 ・表書「上 重貞」とある包紙を再利用。
549	包紙一括	[和歌短冊] (黒主)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26 - 2	・裏書「江戸 宗固」。
550	包紙一括	[和歌短冊] (業平)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26 - 3	・裏書「江戸 宗固」。
551	包紙一括	[和歌短冊] (喜撰)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26 - 4	・裏書「江戸 宗固」。
552	包紙一括	[和歌短冊] (遍昭)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26 - 5	・裏書「江戸 宗固」。
553	包紙一括	[和歌短冊] (小町)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26 - 6	・裏書「江戸 宗固」。
554	包紙一括	[和歌短冊] (康秀)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26 - 7	・裏書「江戸 宗固」。

高階家文書目録

555	包紙一括	〔和歌短冊〕(松葉追年)	(年月日未詳)						短冊	1	5.6×34.4	26-8	・裏書「牧野侯御隠居 昌子」。
556	巻込み一括	白楽天閑居詞	(年月日未詳)						継紙	2	34.1×102.2	44-1	・同詩文と思われる漢詩2点を一括、但し分離状態。
557	巻込み一括	〔歌稿〕	(年月日未詳)						一紙	1	33.2×25.8	44-2	
558	巻込み一括	〔寄庵墨跡〕	(年月日未詳)				(寄庵)		一紙	1	36.2×50.1	47-1	・端裏書「寄庵筆」。
559	巻込み一括	〔写物カ〕(東寺御影供につき)	(年月日未詳)						継紙	1	33.6×94.8	47-2	・後欠。
560	折込一括	〔書籍断簡〕	(年月日未詳)				篠崎尾粥借評		一紙	1	25.0×34.4	72-3	・道鏡・和氣清麿関係書物。
561	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						継紙	1	27.9×31.7	90-1	・整理番号90-2の包紙。 ・切紙紙片1枚同封。
562	—	〔墨跡〕(「掛壺」)	(年月日未詳)						一紙	1	28.2×54.5	90-2	
563	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						一紙	1	28.0×23.0	93-1	・整理番号93-2・3の包紙。
564	—	〔包紙〕	(年月日未詳)						継紙	1	27.9×32.4	93-2	・整理番号93-3の包紙。
565	—	〔墨跡〕(「掛壺」)	(年月日未詳)				浅趣道人		一紙	1	27.3×55.8	93-3	
566	—	〔多賀城碑文写〕	(年月日未詳)						継紙	1	28.5×368.6	86	・碑文は天平宝字6年12月1日のもの。 ・跋文は室鳩巢による。
567	—	諸請取書入并雑書入(包紙)	(年月日未詳)						一紙	1	23.5×23.0	288	・田淵伊織宛山本・宮田両人の借金証文の一部裏側を再利用。
568	—	〔記〕(御室代々書上)	(年月日未詳)						一紙	1	43.0×45.2	309	・弟1(寛平法皇)～21代(覚深)までを記す。
569	包紙一括	〔包紙〕	丁巳	春					一紙	1	24.0×34.0	292-1	・包紙上書「丁巳春改之書付入」。
570	包紙一括	覚(諸道具書上)							継紙	1	15.6×54.5	292-2	・端裏書「白井家へ引出大小」。
571	包紙一括	〔覚〕(類焼道具書上)							継紙	1	15.3×50.1	292-3	・端裏書「類焼道具」。

近代

572	—	約定証(借金返済につき)	明治9	9	7	1876	第八大区四小区四番組 鳥飼西之村戸長中小路 善治(印)・同田基善五 郎(印)	高階秀満殿	罫紙	1	26.5×37.4	81	・「第八大区四小区」罫紙を使用。
-----	---	--------------	-----	---	---	------	---	-------	----	---	-----------	----	------------------

高階家文書目録

573	—	〔土屋弘撰書写〕	明治12			1879	土屋弘撰		堅帳	1	19.1×13.5	280	
574	—	〔封筒〕(式百円預り証書)	(明治)13						一紙	1	23.1×9.5	423	
575	—	〔洪水罹災者救恤感謝状〕	明治19	2	27	1886	大阪府知事従五位建野郷三[印]	大阪府四等訓導高階英吉	一紙	1	22.5×30.7	305	
576	封筒一括	〔封筒〕		5	15		東京神田区中猿樂町五番地近藤方 高階英吉 拝	大阪府摂津国島上郡高槻村 高階春帆様	封筒	1	17.5×6.5	311 - 1	
577	封筒一括	〔書状〕(教員免許検定につき)	(明治21年カ)	4	4	1888	英吉 拝	大人膝下	一紙	1	24.0×32.0	311 - 2	
578	—	〔封筒〕(大沼枕山書状分)	(明治21年)	12	4	1888	大沼枕山	摂津国島上郡高槻 高階春帆様待史	封筒	1	18.0×6.5	2	・下部開封のため欠損。
579	—	〔封筒〕(小野湖山書状分)	(明治21年)	9	15	1888	西京押小路麩屋町西入小野湖山	摂州高槻 高階春帆様 貴頼入	封筒	1	18.9×6.6	3	
580	—	〔封筒〕(小野湖山書状分)	(明治21年)	8	13	1888	西京押小路麩屋町西小野湖山	摂州高槻 高階春帆様 御左右	封筒	1	18.0×6.8	4	・上部開封のため欠損。
581	—	〔郵便葉書〕(尊稿評価につき)	(明治21年)	8	16	1888	西京押小路楊丁 小野湖山	摂州高槻 高階春帆様	葉書	1	14.0×8.9	5	
582	—	〔菁莪塾入塾願綴〕	明治26～28			1893～1895		菁莪塾主高階英吉殿	綴	1	30.4×20.8	318	・48名の入塾願を一括。
583	—	記(米・蠟燭・小間物勘定につき)	(年未詳)	8	30		高木[印・印文「高木店／米蠟燭／小間物」]	高階様	一紙	1	15.7×14.6	372	
584	—	記(広勘定につき)	(年未詳)	4					一紙	1	12.6×34.0	376	
585	—	記(金三拾円請求につき)	(年未詳)	9	29		高岡吉兵衛	高しな様	一紙	1	15.6×11.5	379	
586	—	奉願田畑売買之事(雛形)	(年月日未詳)					大阪府権知事渡部昇宛	一紙	1	23.1×31.8	427	
587	—	〔勘定書断簡〕	(年月日未詳)						一紙	1	10.1×27.1	422	
588	—	〔巨椋池遊興記〕	(年月日未詳)						罫紙綴	1	26.0×18.4	92	
589	—	〔書状〕(金一円の礼)	(年未詳)	9	30		高(カ) 拝	高階汀口侍史(カ)	一紙	1	15.8×46.0	472	
590	—	〔書状〕(板下屋から原稿引き取りにつき)	(明治時代)	12	26		五十川左武郎	高階春帆様待史	一紙	1	16.0×61.0	1	・文書袖朱書「此分ハ御覽後御返シ申候」。
591	—	〔諸氏戒名書上帳〕	(年月日未詳)						堅帳	1	27.8×19.9	36	・記載諸氏の関係性や作成者は不明。
592	—	〔書状〕(獅子窟寺への遊行の件、及び習字検定問題の写し)	(年未詳)	5	3		英吉 拝	大人様下	継紙	1	17.0×140.4	412	・端裏書「五月三日返報」。